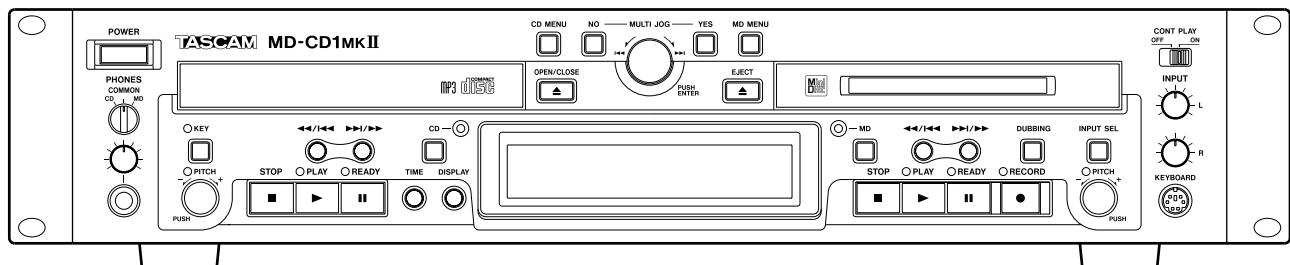
D00978701A

MD-CD1MKⅡ

Minidisc Deck/CD Player

取扱説明書

MDLP MP3

安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2 cm以上、背面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠注意

オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ディスクトレイが閉まるときに手指をはさまれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

この機器には、付属の電源コードセットをご使用下さい。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

付属の電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

目次

このたびは、TASCAM MD-CD1MKⅡミニディスクデッキ／CDプレーヤーをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいた上で、充分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機の構成

本機の構成は以下の通りです。

なお、本機を開梱する時、損傷を与えないよう慎重に行なってください。梱包箱と梱包材は後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

- MD-CD1MKⅡ............1
- 付属品
  - RC-MC1リモコン............1
  - 乾電池（単3、SUM-3）............2
  - ラックマウントビスキット............1
  - 電源コード............1
  - 取扱説明書............1
  - 保証書............1

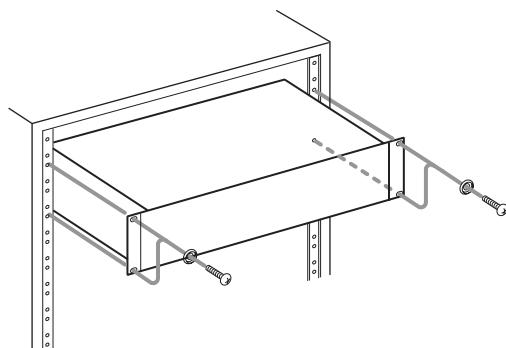
設置上のご注意

設置場所について

次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。

- ● 振動の多い場所や不安定な場所。
- ● 窓際など直射日光が当たる場所。
- ● 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所。
- ● 極端に温度が低い場所。
- ● 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- ● チューナー、テレビやビデオデッキなどのそば。
  雑音の原因や映像の乱れが生じることがあります。

ラックマウント方法

図のように、付属のマウントビスキットで取り付けてください。

使用上のご注意

電源について

AC100V（50―60Hz）以外の電源には接続しないでください。

電源コードの抜き差しは、プラグを持って行なってください。

本体のお手入れ

化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で本機を拭かないでください。表面を傷める原因となります。トップカバーやパネルの汚れは、薄めた中性洗剤液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

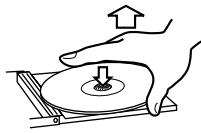
結露現象について

本製品を寒い場所から暖かい場所に移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

CD（コンパクトディスク）の取扱い

本機のCDデッキはCD-DAフォーマットディスクおよび、ISO9660フォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。
市販のオーディオCD（120mm／80mm）だけではなく、正しくオーディオを記録したCD-R/CD-RWを使うことができます。

● ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。

取り出し方

コンパクトディスクの正しい持ち方

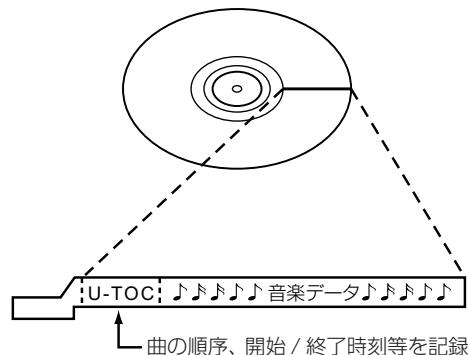
● 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ディスクの汚れは、音飛びの原因となりますので、いつもきれいに清掃し、ケースに入れて保管してください。
● レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
● 直射日光が当る場所や、高温多湿な場所に置かないでください。長時間放置するとそりなどの原因となります。
● レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
● ディスクにセロハンテープやレンタルCD のシールなどをはがしたあとがあるもの、またはシールなどから糊がはみ出しているものは、使用しないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

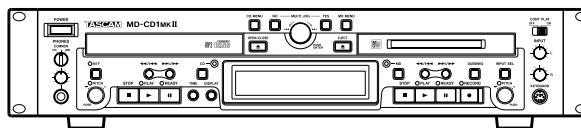
MD （ミニディスク）の取扱い

MDはカートリッジに収納されています。カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になることがあります。いつでもいい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

● MDを使用した後は、必ず取り出してMDケースに入れて保管してください。
● シャッターを開け、中のディスクにさわらないでください。また、無理にシャッターを開けると壊れることがあります。
● 直射日光が当たる所や温度が高くなる所、また湿気の多い所に置かないでください。
● MDカートリッジ表面のほこりは、乾いた布で拭き取ってください。
●MDカートリッジにラベルを貼るときは、指定の位置に正しく貼ってください。ラベルがめくれたり、浮いているとMDが内部につまって取り出せない原因となることがあります。
● ラベルを重ねて貼らないでください。

U-TOCについて

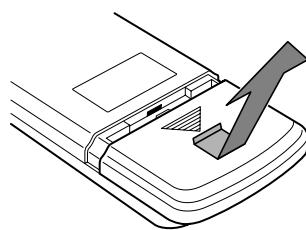
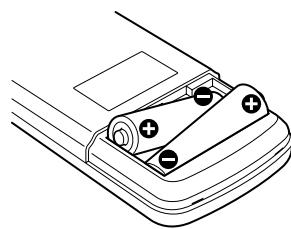
録音用MDは、録音した曲を簡単に編集できます。
録音した曲の情報（開始アドレス、終了アドレス、タイトル他）をU-TOC(User Table of Contents)というところに記録しており、ここを書き換えるだけで自由に編集することができます。

使用上のご注意

- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池の液もれを防ぐために、乾電池をケースから取り出しておいてください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内に付着した液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 赤外線によりコントロールする他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、他の機器を誤動作させることがあります。
- 操作範囲が狭くなったり、操作しても動作しなくなったときは、乾電池が消耗しています。2本とも、新しい乾電池に交換してください。
- 本機の受光部に向けて操作してください。
  障害物があると、操作できません。

乾電池について

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。乾電池の注意表示をよく読んで、正しくご使用ください。

- 乾電池の＋と－の表示をよく確認して、電池ケースの指示通りに、正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には形状が同じでも、電圧が異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 乾電池を分解したり、火の中に投げ込んだり、水につけたりしないでください。

乾電池の入れかた

1. 裏ぶたを開けます。

2. ＋と－を確認して、単3 乾電池を2 本入れます。

3. ふたを閉めます。

第3章　接続

接続を行なう前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。電源は最後に接続してください。

オーディオの接続

アナログオーディオ機器との接続

アナログのステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどを本機のアナログライン入出力端子に接続します。
入力端子にはMDデッキの録音ソース信号を接続します。
出力端子には、それぞれのデッキ専用のCD出力端子とMD出力端子のほかに、COMMON出力があります。COMMON出力からは、信号を出力している側のデッキの信号が出力されます。両方のデッキから信号が出力されている場合、CDメニューのSYSTEMサブメニュー内の"COMMON?"項目で選択されているデッキ（"MD"または"CD"）の信号が優先されます。

メモ

- 別売のバランスアナログ入出力ボード（LA-MC1）を取り付けることにより、バランスシステムの中で本機を使用することができます。
- 本機にはケーブルが付属されていません。
- ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因となります。

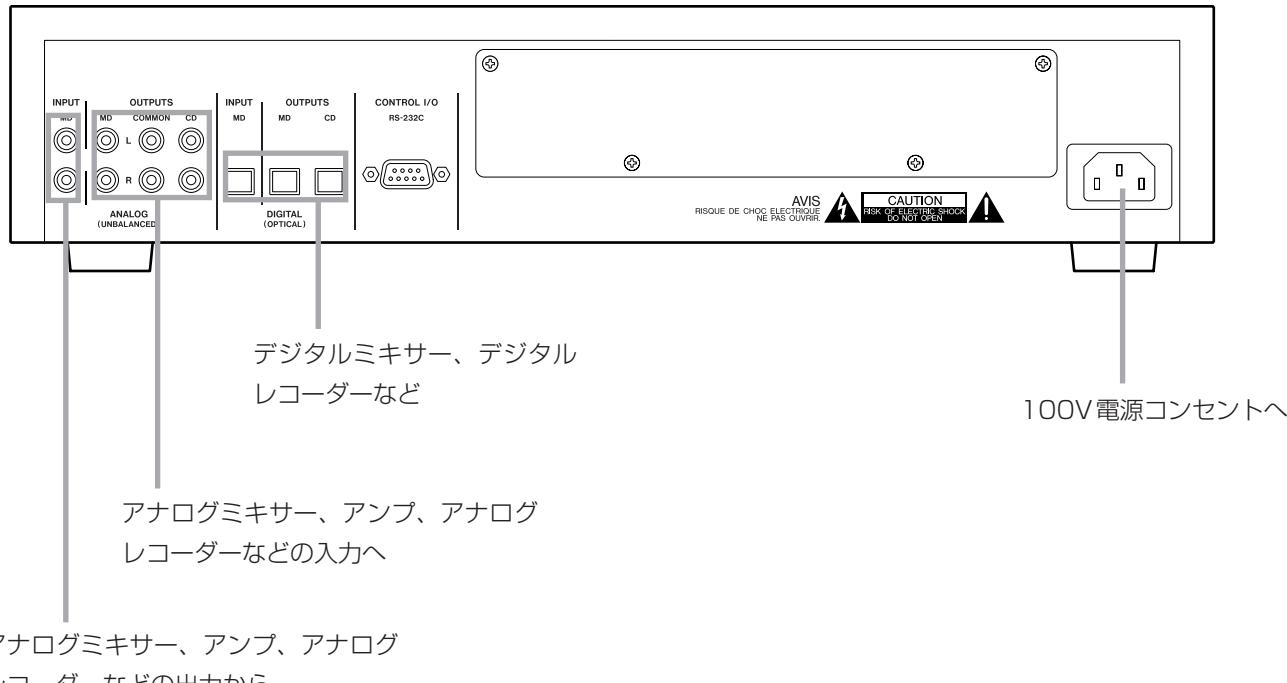
デジタルオーディオ機器との接続

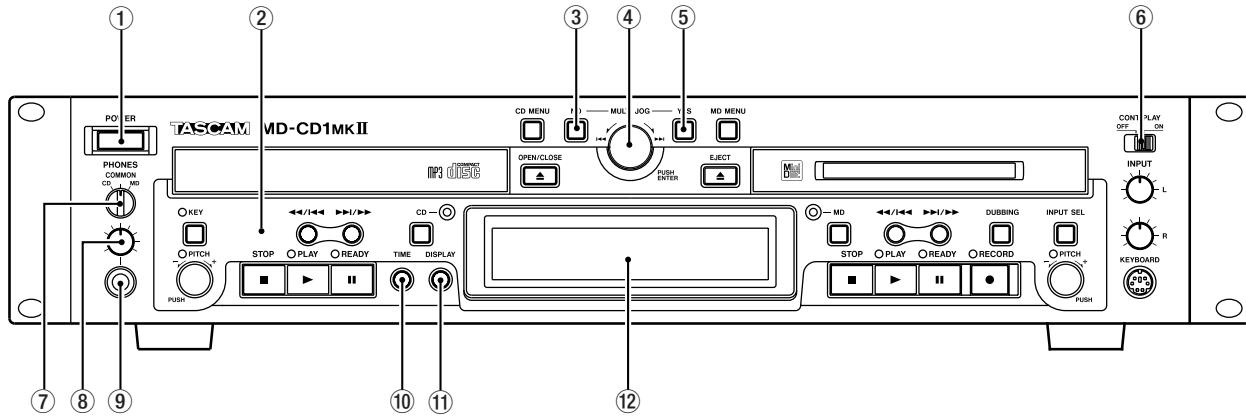
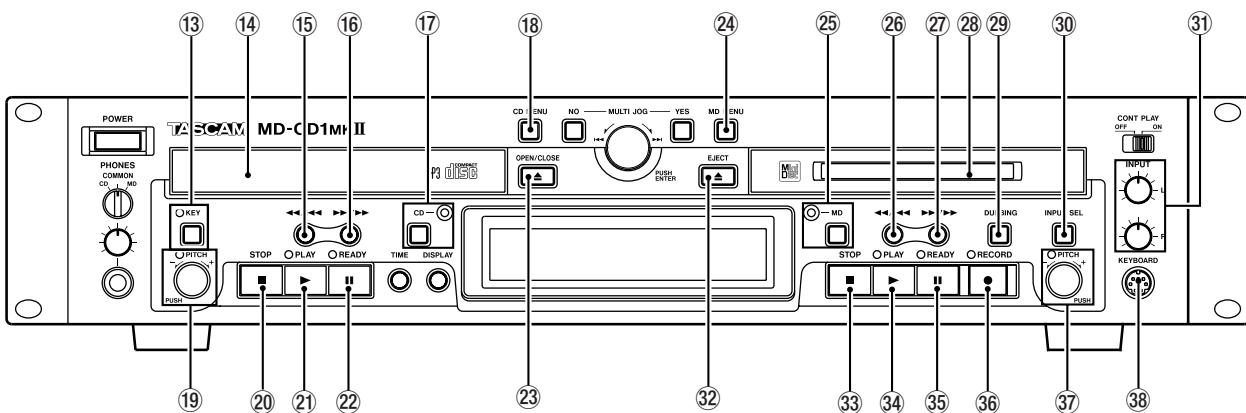
デジタルのステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどを本機の光デジタル入出力端子に接続します。

メモ

本機はサンプリングレートコンバーターを搭載しています。MDのサンプリングレート(44.1KHz)と異なる、32KHz・48KHzの信号をデジタル録音する事も可能です。

電源の接続

本機は日本国内専用です。電源プラグをAC（交流）100Vの電源コンセントに差し込んでください。

フロントパネル

共通部

MD操作部／CD操作部

共通部

① **POWERスイッチ**

電源のオン／オフを行ないます。

② **リモコン受光部**

リモコンのセンサー部です。

③ **NOキー**

メニューモード時、メニュー項目をキャンセルするときに使います。

タイトル入力モード時、キャラクターの削除を行ないます。

④ **MULTI JOGダイアル／ENTERキー**

回すとMULTI JOGダイアルとして働き、押すとENTERキーとして機能します。

MULTI JOGダイアル機能：

ノーマルモード時、MDディスクのグループ選択（MDインジケーター点灯時でグループモードON時）やMP3ディスクのディレクトリ選択（CDインジケーター点灯時）を行ないます。

プログラムモード時、登録トラックを選択します。

メニューモード時、メニュー項目や値を選択します。

MD編集モード時、編集ポイントの設定を行ないます。
タイトル入力モード時、入力キャラクターを選択します。

上記以外の場合、表示マスターデッキのトラックスキップを行います。

ENTERキー機能：
プログラムモード時、選択トラックを確定します。
メニューモード時、メニュー項目を確定するときやメニューでの設定／編集を確定するときに使います（YESキーと同じ働きをします）。
タイトル入力モード時、入力キャラクターを確定します。

⑤ YESキー
メニューモード時、メニュー項目を確定するときやメニューでの設定／編集を確定するときに使います。
タイトル入力モード時、キャラクターの挿入を行ないます。

⑥ CONT PLAYスイッチ
ONに設定すると、CDとMDが交互に連続再生を行ないます。再生中のデッキが自動的に表示マスターになります

⑦ PHONESソース切換スイッチ
ヘッドホンでモニターしたいソース（CD、COMMON、MD）に応じて切り換えます。
COMMONを選択すると、CDとMD両方をモニターすることができます。なお両方のデッキから信号が出力されている場合はSYSTEMメニューの"COMMON?"項目の設定に従います。

⑧ PHONESレベルつまみ
ヘッドホン出力レベルを調節します。

⑨ PHONESジャック
ステレオヘッドホンを接続するため標準ホンジャックです。ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は変換アダプターをご使用ください。

⑩ TIMEキー
このキーを押すと、表示窓に表示される時間モードが切り換わります。［ → 29ページ「時間表示を切り換える」］
時間モード設定は電源を切っても記憶されています。

⑪ DISPLAYキー
タイトル入力モード時、入力キャラクタータイプを切り換えます。［ → 42ページ「名前の入力方法」］
キャラクタータイプ設定は表示窓に表示されます。

英小文字／記号：（無表示）
英大文字／記号："CAPS"
カタカナ："カタカナ"

⑫ 表示窓
CDまたはMDのディスク情報、、トラック情報、デッキの動作モード、メニューなど、さまざまな情報を表示します。
詳細は13ページ「表示窓」をご覧ください。

CD操作部

⑬ KEYキー／インジケーター
このキーを押してインジケーターを点灯させると、キーチェンジ機能がオンになり、キーを変えてCDを再生することができます。キーをどれだけ変えるかの設定は、CDメニューから行ないます。［ → 30ページ「キーを変える」］
キーチェンジ機能のオン／オフ設定は、電源を切っても記憶されています。

⑭ CDトレイ
CDディスクをセットします。

⑮ ◄◄/I◄◄ キー
通常、逆方向のトラック選択（スキップ）やレビュー再生（サーチ）を行なうときに使います。停止時このキーを押すと、手前のトラックにスキップします。停止時に押し続けると、高速でスキップします。再生時このキーを押すと、現在のトラックの冒頭にスキップします。再生時に押し続けると、レビュー再生（サーチ）を行ないます。

⑯ ►►I/►► キー
ノーマルモード時、正方向のトラック選択（スキップ）やキュー再生（サーチ）を行なうときに使います。停止時このキーを押すと、次のトラックにスキップします。停止時に押し続けると、高速でスキップします。再生時このキーを押すと、次のトラックにスキップします。再生時に押し続けると、キュー再生（サーチ）を行ないます。

⑰ CDキー／インジケーター
このキーを押してインジケーターを点灯させるとCDが表示マスターになり、表示窓にCDデッキ／ディスクの情報（設定、時間）が表示されます。
表示マスター設定は電源を切っても記憶されています。

⑱ CD MENUキー
CDメニューモードのオン／オフを行ないます。CDメニューモードでは、表示窓を使ってCDメニュー項目の表示／設定を行なうことができます。またこのとき、CDインジケーターが点滅します。

メモ

MDが表示マスターのとき（MDインジケーター点灯時）にCD MENUキーを押すと、MDインジケーターが点灯したままCDインジケーターが点滅になります。

CDが表示マスターのとき（CDインジケーター点灯時）にCD MENUキーを押すと、CDインジケーターが点滅になります。

⑲ PITCHつまみ／インジケーター

このつまみを押してピッチコントロールのオン／オフを切り換えます。オンの時、インジケーターが点灯します。
このつまみを回してピッチを設定（＋16%〜－50％）します。
ピッチコントロールのオン／オフ設定は、電源を切っても記憶されています。

⑳ STOP (■) キー

CD再生中にこのキーを押すと、CDデッキが停止します。
ダビング機能実行中にこのキーを押すと、MDデッキとCDデッキの両方が停止します。

㉑ PLAY (▶) キー

CD停止中にこのキーを押すと、CDデッキが再生を始めます。
ダビング待機中にこのキーを押すと、CDデッキが再生、MDデッキが録音を始め、ダビングが始まります。

㉒ READY (❚❚) キー

CD停止／再生中にこのキーを押すと、CDデッキが再生待機になります。

㉓ OPEN/CLOSE (⏏) キー

CDトレイの開閉を行ないます。

MD操作部

㉔ MD MENUキー

MDメニューモードのオン／オフを行ないます。MDメニューモードでは、表示窓を使ってMDメニュー項目の表示／設定を行なうことができます。またこのとき、MDインジケーターが点滅します。

メモ

CDが表示マスターのとき（CDインジケーター点灯時）にMD MENUキーを押すと、CDインジケーターが点灯したままMDインジケーターが点滅になります。

MDが表示マスターのとき（MDインジケーター点灯時）にMD MENUキーを押すと、MDインジケーターが点滅になります。

㉕ MDキー／インジケーター

このキーを押してインジケーターを点灯させるとMDが表示マスターになり、表示窓にMDデッキ／ディスクの情報（設定、時間）が表示されます。
表示マスター設定は電源を切っても記憶されています。

㉖ ◀◀/I◀◀ キー

ノーマルモード時、逆方向のトラック選択（スキップ）やレビュー再生（サーチ）を行なうときに使います。停止時このキーを押すと、手前のトラックにスキップします。停止時に押し続けると、高速でスキップします。再生時このキーを押すと、現在のトラックの頭にスキップします。再生時に押し続けると、レビュー再生（サーチ）を行ないます。
タイトル入力モード時、このキーを使ってカーソルを左に移動します。

㉗ ▶▶I/▶▶ キー

ノーマルモード時、正方向のトラック選択（スキップ）やキュー再生（サーチ）を行なうときに使います。停止時このキーを押すと、次のトラックにスキップします。停止時に押し続けると、高速でスキップします。再生時このキーを押すと、次のトラックにスキップします。再生時に押し続けると、キュー再生（サーチ）を行ないます。
タイトル入力モード時、このキーを使ってカーソルを右に移動します。

㉘ MD挿入口

録音または再生するMDディスクを挿入します。
ラベル面を上にして、矢印の向きに差し込みます。

㉙ DUBBINGキー

CDをMDにダビングするときに使います。詳しくは「第8章　CDをMDにダビングする」（33ページ）をご覧ください。

㉚ INPUT SELキー

MDデッキの録音入力ソースを選択します。キーを押すたびに"ANALOG"と"OPTICAL"の間で切り換わります。
ダビングモード時には、自動的にCD出力信号がソース

になります。
入力選択は電源を切っても記憶されています。

㉛ INPUT (L, R) つまみ
アナログ入力信号をMDに録音するときの入力レベルを調節します（L, Rチャンネル独立）。

㉜ EJECT (⏏) キー
MDディスクを取り出すときに押します。

㉝ STOP (■) キー
MD再生／録音中にこのキーを押すと、MDデッキが停止します。
ダビング機能実行中にこのキーを押すと、MDデッキとCDデッキの両方が停止します。
MD編集モード中にこのキーを押すと、編集モードがキャンセルされて、ノーマルモードに戻ります。

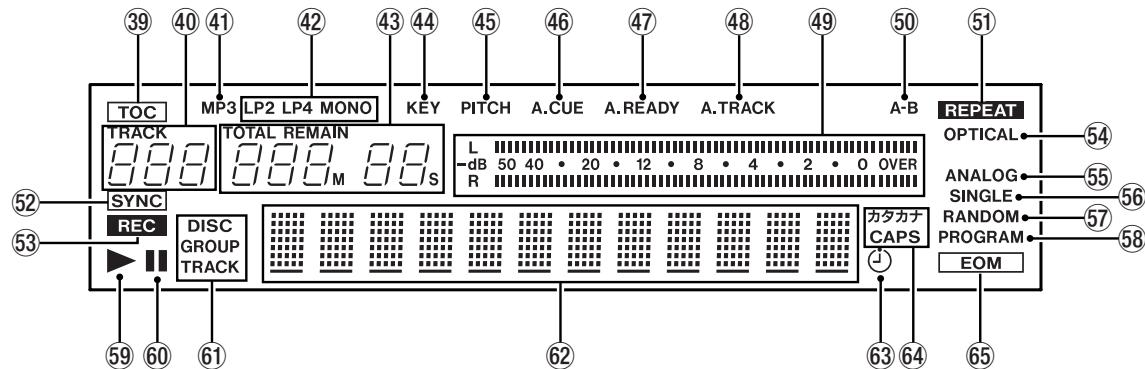
㉞ PLAY (▶) キー
MD停止／再生待機中にこのキーを押すと、MDデッキが再生を始めます。
MD録音待機中にこのキーを押すと、MDデッキが録音を始めます。
ダビング待機中にこのキーを押すと、CDデッキが再生、MDデッキが録音を始め、ダビングが始まります。

㉟ READY (❚❚) キー
MD停止／再生中にこのキーを押すと、MDデッキが再生待機になります。
MD録音中にこのキーを押すと、MDデッキが録音待機になります。

㊱ RECORD (●) キー
MDディスクがセットされていない状態でこのキーを押すと、入力信号をモニターすることができます。
録音可能なMDディスクがセットされて停止しているときにこのキーを押すと、MDデッキが録音待機になります。録音待機になると、入力信号をモニターすることができます。
MD録音中にこのキーを押すと、トラックナンバーがインクリメントされます。

㊲ PITCHつまみ／インジケーター
このつまみを押してピッチコントロールのオン／オフを切り換えます。オンの時、インジケーターが点灯します。
このつまみを回してピッチを設定（±12.5%）します。
ピッチコントロールがオンのとき、デジタル出力端子（[DIGITAL (OPTICAL) - OUTPUTS - MD]端子）からは信号が出力されません。
ピッチコントロールのオン／オフ設定は、電源を切っても記憶されています。

㊳ KEYBOARDコネクター
IBM PC互換機用、PS/2インタフェースのキーボードを接続します。キーボードを使って本機を操作することができます。特にタイトル入力を効率的に行なうことができます。

表示窓

表示窓には、CDまたはMDのディスク情報、デッキの動作モード、メニューなど、さまざまな情報が表示されます。CDとMDのどちらのディスク／デッキ情報を表示するかは、本機のCDキーまたはMDキーを使って選択します。選択中のデッキを「表示マスター」と呼びます。また、CD MENUキーまたはMD MENUキーを押すと、それぞれCDメニュー、MDメニューが表示されます。

㊴ TOC
最新のTOC情報がディスクに記録されていない場合に赤く点灯します。TOC記録中は赤く点滅します。

㊵ トラック番号表示部
再生中／選択中のトラック番号を表示します。

㊶ MP3
CDデッキにMP3ディスクをセットしているとき点灯します。

㊷ MD録音モード表示 (LP2, LP4, MONO)
MDの録音モードを表示します。ノーマルモード時は何も点灯しません。なおMD再生中は、再生しているMDの録音モードが表示されます。

㊸ カウンター表示部
時間表示モードに応じてTOTAL，REMAINが点灯／消灯します。カウンター表示は分（3桁）秒（2桁）です。

㊹ KEY
CDデッキのキーチェンジ機能がオンのとき点灯します。

㊺ PITCH
表示マスターデッキのピッチコントロール機能がオンのとき点灯します。

㊻ A.CUE
表示マスターデッキのオートキュー機能がオンのとき点灯します。

㊼ A.READY
表示マスターデッキのオートレディ機能がオンのとき点灯します。

㊽ A.TRACK
表示マスターがMDで、オートトラック機能がオンのとき点灯します。
録音中および録音待機中、オートトラック機能がTimeのときは点滅します。

㊾ メーター
CD／MDデッキの再生レベルおよびMDデッキの録音入力レベルを表示します。

㊿ A-B
表示マスターデッキのA-Bリピート機能がオンのとき点灯します。

(51) REPEAT
表示マスターデッキのリピート機能がオンのとき点灯します。

(52) SYNC
シンク録音モードがオンのときに点灯します。

(53) REC
MDデッキが録音中または録音待機中、点灯します。

(54) OPTICAL
MDの入力ソースをデジタルに設定したとき点灯します。

(55) ANALOG
MDの入力ソースをアナログに設定したとき点灯します。

(56) SINGLE
表示マスターデッキがシングル再生モードのとき点灯します。

㊼ RANDOM
表示マスターデッキがランダム再生モードのとき点灯します。

㊽ PROGRAM
表示マスターデッキがプログラム再生モードのとき点灯します。

㊾ ►
表示マスターデッキが再生中または録音中、点灯します。またオートキュー機能がオンの場合、オートキューポイントをサーチ中に点滅します。

㊿ II
表示マスターデッキが録音または再生の待機（一時停止）中、点灯します。

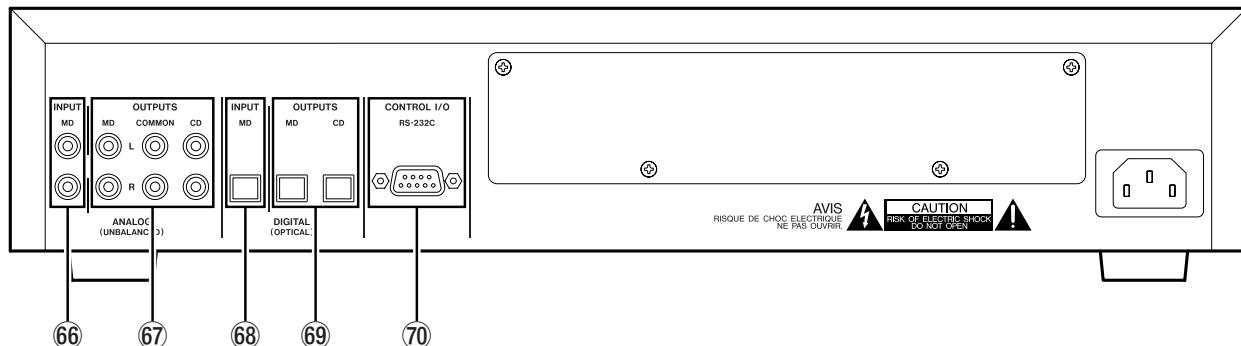
61 DISC, GROUP, TRACK表示
表示マスターデッキにディスクがセットされていて、停止中のときに"DISC"が点灯します。
表示マスターがCDデッキでディレクトリモードがオンのとき、あるいは表示マスターがMDデッキでグループモードがオンのとき、"GROUP"が点灯します。
再生および再生待機中、"TRACK"を表示します。

62 キャラクター表示部
ディスク情報、トラック情報、メニュー、メッセージ、動作ステータスなどを表示します。

63 ⏲
タイマープレー機能がオンのときに点灯します。
また、タイマープレー機能がオンでディスクが入っていないときに点滅します。

64 カタカナ、CAPS
タイトル入力時のキャラクターモードがカタカナ、英大文字のときに「カタカナ」「CAPS」がそれぞれ点灯します。英小文字のときは何も点灯しません。

65 EOM
トラック／ディスクの残り時間がEOM設定値以下になったときに点灯します。

リアパネル

66 [ANALOG - INPUT - MD]端子
MDデッキ用のアナログライン入力端子（RCAピンジャック）です。規定入力レベルは－10 dBVです。

67 [ANALOG - OUTPUTS - CD, COMMON, MD]端子
アナログライン出力端子（RCAピンジャック）です。規定出力レベルは－10 dBVです。

CD：CDデッキの信号を出力します。

COMMON：CDとMD両方を出力します。なお両方のデッキを再生中の場合は、CDメニューのSYSTEMサブメニュー内のの"COMMON?"項目の設定に従います。

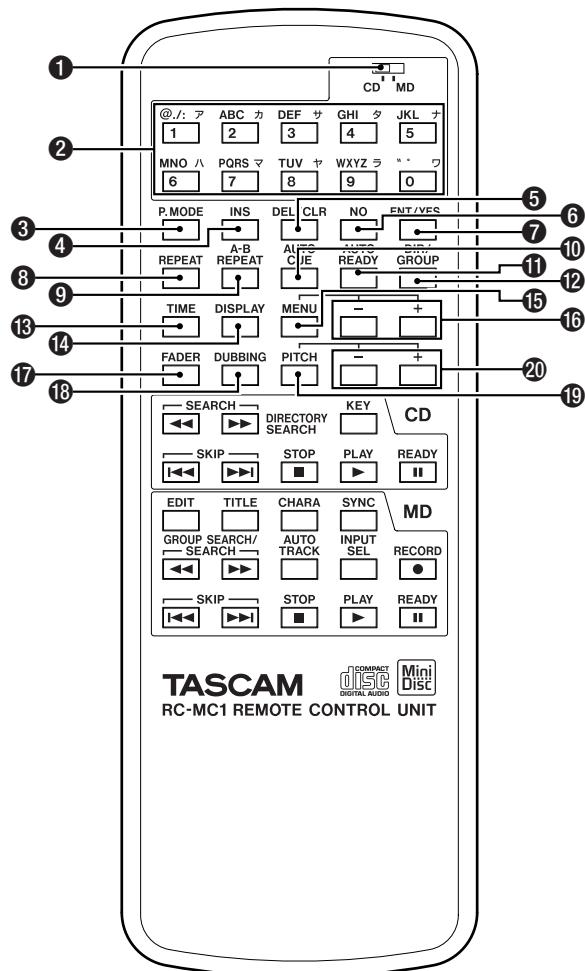
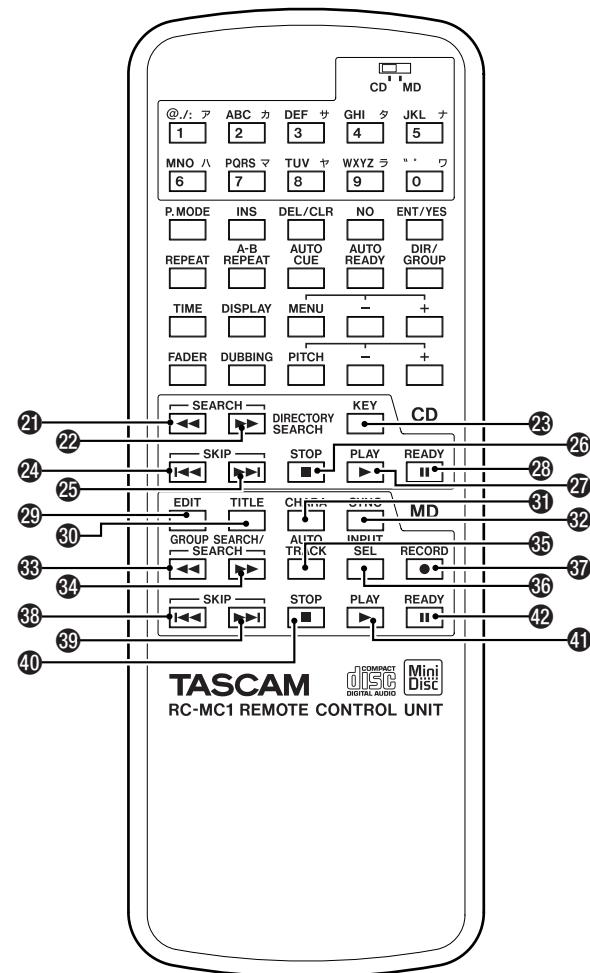
MD：MDデッキの信号を出力します。 再生時は再生信号が出力され、入力モニター時はソース信号が出力されます。

68 [DIGITAL (OPTICAL) - INPUT]端子
MDデッキ用のデジタル入力端子です。

69 [DIGITAL (OPTICAL) - OUTPUTS - MD, CD]端子
デジタル出力端子（オプティカル）です。CDデッキとMDデッキの再生信号が、それぞれの端子から別々にデジタル出力されます。

70 [CONTROL I/O (RS-232C)]コネクター
外部のPCなどから、RS-232C対応のシリアル制御を行なうことができます。

リモコン

共用キー

MD操作キー／CD操作キー

共用キー

以下の❷以降に説明するキーはMDデッキとCDデッキの共用キーで、❶で選択されたデッキをコントロールします。

❶ CD/MD選択スイッチ

「リモコンマスター」を選択します。[→ 19ページ「表示マスターとリモコンマスター」]

以下の「共用キー」で説明するキーは、リモコンマスター（CDまたはMD）デッキに対して機能します。

❷ 数字キー（0～9）

トラックナンバーの選択、タイムサーチに使われます。またMDのタイトル入力モード時の文字入力（アルファベット、記号、数字、カタカナ）に使われます。入力できる文字はキーの上に表記されています。

ご注意!

トラックナンバーの選択、タイムサーチは、表示マスターデッキに対して実行されます。リモコンマスターに対してではありません。

おことわり

このキーはタイトル入力時の文字入力にも使いますが、本取扱説明書では「数字キー」と呼ぶことにします。

❸ P.MODEキー

再生モードを切り換えます。

選択中のプレイモードは表示窓に以下のように表示されます。

通常再生（曲順再生）：	無点灯
シングル再生：	SINGLE点灯
プログラム再生：	PROGRAM点灯
ランダム再生：	RANDOM点灯

通常再生以外の各モードについては「1曲だけ再生する」（27ページ）、「希望の曲を希望の順に再生する」（28ページ）、「ランダムに再生する」（29ページ）をご覧ください。

プレイモード選択は電源を切っても記憶されています。

❹ INSキー

MDのタイトル入力モード時、カーソル位置にスペースを挿入します。

❺ DEL/CLRキー

トラックナンバー入力中、このキーを押すとトラックナンバーがクリアーされます。

プログラム入力時、選択中のプログラムナンバーのトラックが削除されます。

タイトル入力モード時、カーソル位置の文字が削除されます。

❻ NOキー

本体のNOキーと同じ働きをします。

❼ ENT/YESキー

本体のYESキー（およびENTERキー）と同じ働きをします。

❽ REPEATキー

リピートモードのオン／オフを行ないます。オンのときは表示窓に"REPEAT"が点灯します。[→ 26ページ「繰り返して再生する」]

リピートモード選択は電源を切っても記憶されています。

❾ A-B REPEATキー

A-Bリピートモードのオン／オフおよびリピート範囲の設定を行ないます。[→ 26ページ「任意の区間を繰り返して再生する（A-Bリピート再生）」]

❿ AUTO CUEキー

オートキューモードのオン／オフを行ないます。オンのとき、表示窓に"A CUE"が点灯します。[→ 25ページ「曲の頭で待機する（オートキュー）」]

オートキュー設定は電源を切っても記憶されています。

⓫ AUTO READYキー

オートレディモードのオン／オフを行ないます。オンのとき、表示窓に"A READY"が点灯します。[→ 26ページ「1 曲再生するごとに待機する」]

オートレディ設定は電源を切っても記憶されています。

⓬ DIR/GROUPキー

停止中にこのキーを押すと、リモコンマスター設定に応じて、MP3ディスクのディレクトリ再生モードあるいはMDのグループ再生モードのオン／オフを行ないます。

[→ 31ページ「MP3ファイルのディレクトリ再生」]

[→ 32ページ「MDのグループ再生」]

⓭ TIMEキー

本体のTIMEキーと同じ働きをします。

⓮ DISPLAYキー

停止中にこのキーを押すと、現在のディスクタイトルが表示窓に表示され、再生中（または再生待機中）に押すと、現在のトラックタイトルが表示されます。

また、現在の表示マスターでないデッキ側にCD/MD選択スイッチを切り換えてからDISPLAYキーを押すことにより、表示マスターを切り換えることができます。

⓯ MENUキー

リモコンマスターに応じてCDメニューモードまたはMDメニューモードのオン／オフを切り換えます（本体のCD MENUキーまたはMD MENUキーと同様の機能）。

⑯ MENU +/− キー
メニューモード時、メニュー項目や設定値を選択します（本体のMULTI JOGダイアルと同様の機能。ただし表示選択中のトラック選択は行えません）。

⑰ FADERキー
CDでは、再生待機中に押すとフェードイン再生、再生中に押すとフェードアウト再生を行ないます。
MDでは、録音待機中に押すとフェードイン録音、録音中に押すとフェードアウト録音を行ないます。

⑱ DUBBINGキー
本体のDUBBINGキーと同じ働きをします。[→ 33ページ「第8章　CDをMDにダビングする」]

⑲ PITCHキー
本体のMD操作部、CD操作部それぞれにあるPITCHキー／ダイアルを押したときと同様の働きをします。すなわち、ピッチコントロールのオン／オフを行ないます。[→ 27ページ「曲のピッチを変える」]
ピッチコントロールのオン／オフ設定は電源を切っても記憶されています。

⑳ PITCH +/− キー
本体のMD操作部、CD操作部それぞれにあるPITCHキー／ダイアルを回したときと同様の働きをします。すなわち、ピッチコントロールがオンの場合のピッチ値を設定します。[→ 27ページ「曲のピッチを変える」]
ピッチ設定は電源を切っても記憶されています。

CD操作キー

㉑ ◀◀ キー
再生時（または再生待機時）に押し続けると、レビュー再生（サーチ）を行ないます。
MP3ディスクがセットされている場合、停止時にこのキーを押すことによりディレクトリを選択できます。（−方向）

㉒ ▶▶ キー
再生時（または再生待機時）に押し続けると、キュー再生（サーチ）を行ないます。
MP3ディスクがセットされている場合、停止時にこのキーを押すことによりディレクトリを選択できます。（+方向）

㉓ KEYキー
キーチェンジ機能のオン／オフを行ないます。
オンにすると、キーを変えてCDを再生することができます。キーをどれだけ変えるかの設定は、CDメニューから行ないます。[→ 30ページ「キーを変える」]
キーチェンジ機能のオン／オフ設定は、電源を切っても記憶されています。

㉔ |◀◀ キー
ノーマルモード時、逆方向のトラック選択（スキップ）やレビュー再生（サーチ）を行なうときに使います。停止時このキーを押すと、手前のトラックにスキップします。停止時に押し続けると、高速でスキップします。再生時このキーを押すと、現在のトラックの頭にスキップします。

㉕ ▶▶| キー
ノーマルモード時、正方向のトラック選択（スキップ）やキュー再生（サーチ）を行なうときに使います。停止時このキーを押すと、次のトラックにスキップします。停止時に押し続けると、高速でスキップします。再生時このキーを押すと、次のトラックにスキップします。

㉖ STOP (■) キー
本体のCD操作部のSTOPキーと同じ働きをします。

㉗ PLAY (▶) キー
本体のCD操作部のPLAYキーと同じ働きをします。

㉘ READY (❚❚) キー
本体のCD操作部のREADYキーと同じ働きをします。

MD操作キー

㉙ EDITキー

ノーマルモード、メニューモード、タイトル入力モード時にこのキーを押すと、MD編集モードになります。
[→38ページ「第10章　MDの編集」]
MD編集モード時にこのキーを押すと、ノーマルモードに戻ります。

㉚ TITLEキー

ノーマルモード、メニューモード、MD編集モード時にこのキーを押すと、タイトル入力モードになります。
[→42ページ「名前を付ける」]
タイトル入力モード時にこのキーを押すと、ノーマルモードに戻ります。

㉛ CHARAキー

タイトル入力モード時にこのキーを押すと、入力キャラクタータイプが切り換わります。[→42ページ「タイトルの入力方法」]
キャラクタータイプ設定は表示窓に表示されます。

英小文字／記号：（無表示）
英大文字／記号："CAPS"
カタカナ："カタカナ"

㉜ SYNCキー

入力信号レベルに応じて自動的に録音を開始／停止するシンク録音モードのオン／オフを行ないます。[→37ページ「シンク録音する」]
オンのとき、表示窓に"SYNC"が点灯します。

㉝ ◀◀ キー

再生時（または再生待機時）に押し続けると、レビュー再生（サーチ）を行ないます。
グループモードがオンの場合、停止中にこのキーを押すことによりグループを選択できます（－方向）。

㉞ ▶▶ キー

再生時（または再生待機時）に押し続けると、キュー再生（サーチ）を行ないます。
グループモードがオンの場合、停止中にこのキーを押すことによりグループを選択できます（＋方向）。

㉟ AUTO TRACKキー

MD録音時のオートトラック機能の設定を行ないます。"OFF"、"-**dB"、"DD"、"Time"の中から選択できます。
[→35ページ「トラック番号を付ける」]
設定は電源を切っても記憶されています。

㊱ INPUT SELキー

本体のINPUT SELECTキー同様、MD入力ソースの選択を行ないます。このキー操作は、リモコンマスターの設定にかかわらず、常に有効です。[→34ページ「入力ソースを選択する」]
設定は電源を切っても記憶されています。

㊲ RECORD (●) キー

本体のMD操作部のRECORDキーと同じ働きをします。

㊳ |◀◀ キー

ノーマルモード時、逆方向のトラック選択（スキップ）やレビュー再生（サーチ）を行なうときに使います。停止時このキーを押すと、手前のトラックにスキップします。停止時に押し続けると、高速でスキップします。再生時このキーを押すと、現在のトラックの頭にスキップします。
タイトル入力モード時、このキーを使ってカーソルを左に移動します。

㊴ ▶▶| キー

ノーマルモード時、正方向のトラック選択（スキップ）やキュー再生（サーチ）を行なうときに使います。停止時このキーを押すと、次のトラックにスキップします。停止時に押し続けると、高速でスキップします。再生時このキーを押すと、次のトラックにスキップします。
タイトル入力モード時、このキーを使ってカーソルを右に移動します。

㊵ STOP (■) キー

本体のMD操作部のSTOPキーと同じ働きをします。

㊶ PLAY (▶) キー

本体のMD操作部のPLAYキーと同じ働きをします。

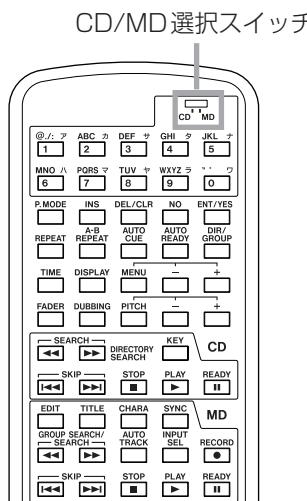
㊷ READY (❚❚) キー

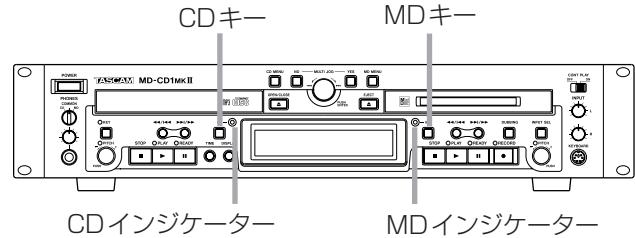
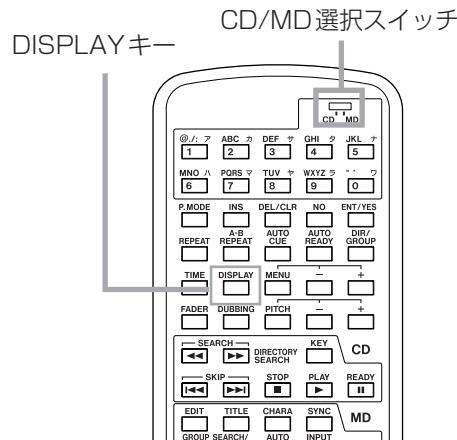
本体のMD操作部のREADYキーと同じ働きをします。

第5章　表示マスターとリモコンマスター

本機にはCDデッキとMDデッキが搭載されています。本体の表示窓やリモコン上部のキーはこれらのデッキで共用になっており、常にいずれか一方のデッキ用として機能します。本書では、表示窓に情報を表示されるデッキを「表示マスター」、リモコンの共用キーの操作先のデッキを「リモコンマスター」と呼びます。

リモコンマスターの選択

リモコン上部のCD/MD選択スイッチを使って、「リモコンマスター」を選択します。リモコン上部の共用キーはリモコンマスターデッキに対して働きます。

表示マスターの選択

本体のCDキーまたはMDキーを押すと、そのデッキが「表示マスター」になり、CDインジケーターまたはMDインジケーターが点灯します。

リモコンから表示マスターを切り換えるには、CD/MD選択スイッチを表示マスターにしたいデッキ側に設定した状態でDISPLAYキーを押します。

ご注意!

リモコンの共用キーを使って操作を行なう場合、リモコンマスターデッキと表示マスターデッキが一致していないと、操作の結果が表示窓に表示されません。操作結果を確認するには、リモコンマスターデッキと表示マスターデッキが一致していることが必要です。

第6章　メニュー操作

本機では各種設定や編集操作を、表示窓に表示されるメニュー項目を使って行ないます。
なおメニュー設定項目の中には、リモコンのダイレクトキーを使って設定できる項目もあります。

メニューの構成

メニューにはCDメニューとMDメニューがあります。それぞれのメニューの下にサブメニューがあり、各サブメニュー内にはメニュー項目があります。全体の構成は以下のようになっています。

CDメニュー

メニュー項目	機能	参照個所	ページ
CD PLAYサブメニュー（CDの再生に関する項目）			
PLAY MODE	再生モードの設定	「再生モードについて」	23
REPEAT	リピートモードの設定	「繰り返して再生する（リピート再生）」	26
A_CUE LEVEL	オートキューレベルの設定	「曲の頭で待機する（オートキュー）」	25
A_CUE	オートキューのオン／オフ	「曲の頭で待機する（オートキュー）」	25
A_READY	オートレディのオン／オフ	「1曲再生するごとに待機する（オートレディ）」	26
PITCH STEP	ピッチコントロール可変ピッチの設定	「曲のピッチを変える（ピッチコントロール）」	27
EOM TRK	トラックでのEOM モードおよび動作時間	「ディスクやトラックの終了を予告表示する（EOM）」	29
EOM DISC	ディスクでのEOM モードおよび動作時間	「ディスクやトラックの終了を予告表示する（EOM）」	29
TIMER PLAY	タイマープレイのオン／オフ	「タイマー再生をする」	27
KEY LEVEL	キーコントロールレベルの設定	「キーを変える」	30
DIR MODE	MP3ディスクのディレクトリモードのオン／オフ	「MP3ファイルのディレクトリ再生」	31
MP3 ACTION	MP3ファイル再生時のエラー処理設定	「MP3 ACTIONの設定」	31
CD VOL FUNCサブメニュー（CDのボリューム機能に関する項目）			
PLAY VOLUME	出力レベルの設定	「出力ボリューム調整」	30
FADE IN	フェードイン動作時間の設定	「フェードイン／フェードアウト再生」	30
FADE OUT	フェードアウト動作時間の設定	「フェードイン／フェードアウト再生」	30
FADE MODE	フェードアウト完了後の動作モードの設定	「フェードイン／フェードアウト再生」	30
SERIALサブメニュー（RS-232C通信に関する項目）			
BAUD RATE	通信速度の設定	「通信設定」	46
LENGTH	通信データ長の設定	「通信設定」	46
PARITY	通信パリティビットの設定	「通信設定」	46
STOP BIT	通信ストップビットの設定	「通信設定」	46
SYSTEMサブメニュー（本機全体に関する項目）			
KEYBOARD	接続キーボードタイプの設定	「キーボードタイプの設定」	44
COMMON	COMMON出力のCD /MD の優先順位	「モニターについて」	24
CD P_TIME	CDの総再生時間の確認	「サービスデータの確認」	46
MD P_TIME	MDの総再生時間の確認	「サービスデータの確認」	46
MD R_TIME	MDの総録音時間の確認	「サービスデータの確認」	46
IR REMOTE	リモコン(RC-MC1)操作の禁止／許可の設定	「メニュー操作の基本」	22
F_PRESET	各種設定を工場出荷状態に戻す	「サービスデータの確認」	46

MDメニュー

メニュー項目	機能	参照個所	ページ
MD PLAYサブメニュー（MDの再生に関する項目）			
PLAY MODE	再生モードの設定	「再生モードについて」	23
REPEAT	リピートモードの設定	「繰り返して再生する（リピート再生）」	26
A _CUE LEVEL	オートキューレベルの設定	「曲の頭で待機する（オートキュー）」	25
A _CUE	オートキューのオン／オフ	「曲の頭で待機する（オートキュー）」	25
A _READY	オートレディのオン／オフ	「1曲再生するごとに待機する（オートレディ）」	26
PITCH STEP	ピッチコントロール可変ピッチの設定	「曲のピッチを変える（ピッチコントロール）」	27
EOM TRK	トラックでのEOM モードおよび動作時間	「ディスクやトラックの終了を予告表示する（EOM）」	29
EOM DISC	ディスクでのEOM モードおよび動作時間	「ディスクやトラックの終了を予告表示する（EOM）」	29
TIMER PLAY	タイマープレイのオン／オフ	「タイマー再生をする」	27
GRP MODE	グループモードのオン／オフ	「MDのグループ再生」	32

メニュー項目	機能	参照個所	ページ
MD VOL FUNCサブメニュー（MDのボリューム機能に関する項目）			
REC VOLUME	入力レベルの設定	「録音の基本操作」	34
FADE IN	フェードイン動作時間の設定	「フェードイン／フェードアウト録音」	36
FADE OUT	フェードアウト動作時間の設定	「フェードイン／フェードアウト録音」	36
FADE MODE	フェードアウト後の動作モードの設定	「フェードイン／フェードアウト録音」	36

メニュー項目	機能	参照個所	ページ
RECサブメニュー（MDの録音状態に関する項目）			
REC MODE	録音モードの設定	「録音モードを設定する」	33
REC SPEED	ダビングモード時のスピード設定	「録音スピードを設定する」	33
SYNC LEVEL	シンク録音の動作レベル	「シンク録音する」	37
SYNC	シンク録音モードのオン／オフ	「シンク録音する」	37
A_TRK TIME	タイムトラックインクリメント時間の設定	「トラック番号を付ける」	35
A_TRK LEVEL	オートトラック動作レベル	「トラック番号を付ける」	35
A_TRK	オートトラックモード	「トラック番号を付ける」	35
TM_REC	タイムマシン録音時間	「タイムマシン機能」	36

メニュー項目	機能	参照個所	ページ
EDITサブメニュー（MDの編集機能に関する項目）			
DIVIDE	トラックの分割	「トラックを分割する（DIVIDE 機能）」	39
COMBINE	トラックの結合	「トラックを結合する（COMBINE 機能）」	40
MOVE	トラックの移動	「トラックを移動する（MOVE 機能）」	40
GRP CREATE	グループの作成	「グループを作る」	41
GRP CANCEL	グループの解除	「グループを解除する」	41
ERASE DISC	ディスクの消去	「全トラックを消去する（ERASE DISC）」	38
ERASE TRK	トラックの消去	「トラックを消去する（ERASE TRK）」	39
UNDO	編集操作のアンドゥ	「編集操作について」	38

メニュー項目	機能	参照個所	ページ
TITLEサブメニュー（MDのタイトル編集機能に関する項目）			
TITLE INPUT	トラック名またはディスク名の入力	「名前を付ける（TITLE 機能）」	42
TITLE GRP	グループ名の入力	「グループ名を付ける」	43

メニュー操作の基本

1.希望のメニュー（CDメニューまたはMDメニュー）を選択します。

本体操作の場合：
CD MENUキーまたはMD MENUキーを押して、CDメニューまたはMDメニューに入ります。

リモコン操作の場合：
MENUキーを押すと、CD/MD選択スイッチで設定したリモコンマスターに応じてCDメニューまたはMDメニューに入ります。

サブメニュー選択画面になります。

（例） `CD PLAY?`

メモ
メニューモードに入ると、CDメニューの場合は本体のCDインジケーター、MDメニューの場合はMDインジケーターが点滅します。

表示マスターと異なるデッキのメニューを選択した場合、表示マスターのインジケーターは点灯したままで、メニューモードのデッキのインジケーターが点滅します。
表示マスターと同じデッキのメニューを選択した場合、インジケーターは点滅になります。

2. 希望のサブメニューを選択します。

本体操作の場合：
MULTI JOGダイアルを使って選択し、ENTERキー（またはYESキー）を押します。

リモコン操作の場合：
MENU +/− キーを使って選択し、ENT/YESキーを押します。
メニュー項目選択画面になります。

（例） `PLAY MODE?`

メモ
メニュー項目選択画面からサブメニュー選択画面に戻りたい場合は、本体またはリモコンのNOキーを押します。

3.希望のメニュー項目を選択します。

本体操作の場合：
MULTI JOGダイアルを使って選択し、ENTERキーを押します。

リモコン操作の場合：
MENU +/− キーを使って選択し、ENT/YESキーを押します。

設定画面になります。

（例） `Mode>Cont`

メモ
メニュー項目選択画面に戻りたい場合は、本体またはリモコンのNOキーを押します。ただし、EDITメニュー項目の場合、NOキーを押すとメニューモードを抜けます。

4.設定を行ないます。

本体操作の場合：
MULTI JOGダイアルを使って選択肢を選び、ENTERキーを押します。

リモコン操作の場合：
MENU +/− キーを使って選択肢を選び、ENT/YESキーを押します。

メモ
- ●時間表示など、確認のみで設定のないメニュー項目もあります。
- ●MD編集メニューの操作については「第10章　MDの編集」（38ページ〜）、タイトルメニューの操作については「名前の入力方法」（42ページ）をご覧ください。

5.設定（あるいは確認）後（メニュー項目表示中）、以下の操作でメニューモードを抜けます。

本体操作の場合：
現在のメニューモードに対応するCD MENUキーまたはMD MENUキーを押します。

リモコン操作の場合：
MENUキーを押します。

CDインジケーターまたはMDインジケーターの点滅が終わります。

メモ
CDメニューのSYSTEMサブメニュー内の" IR REMOTE? "項目の設定により、本機が特定のキーを除いてリモコンからの操作を受け付けなくすることができます。
" Enable "に設定すると、リモコンからの全てのキー操作が可能となります。

本機でCDやMDを再生することができます。基本的な再生および多くの再生機能は、CDデッキとMDデッキとでほとんど同じです。本章ではこれらの再生機能についてまず説明します（〜29ページ）。そのあと、CDのみの再生機能（30ページ）、MP3ディスクのディレクトリ再生（31ページ）、およびMDのグループ再生（32ページ）について説明します。

再生可能なディスクについて

本機のCDデッキ、MDデッキで、以下のディスクを再生することができます。

CDデッキ

(CD-DAフォーマットで記録された)市販のオーディオCD、ファイナライズされているCD-DAフォーマットディスク、またはISO9660フォーマットで記録されたMP3ファイル

MDデッキ

標準、LP2、LP4またはMONOモードで記録したオーディオMD

再生モードについて

本機のCDデッキおよびMDデッキには、それぞれ4つの再生モードがあります。選択中の再生モードは表示窓に点灯表示されます。

通常再生（Countinuous）モード：無点灯
シングル再生モード：　SINGLE点灯
プログラム再生モード：　PROGRAM赤色点灯
ランダム再生モード：　RANDOM赤色点灯

再生モードはリモコンのP.MODEキーで切り換えられます。キーを押すたびにつぎの順に切り換わります。

→ Cont → Single → Program → Random

● MDメニュー、またはCDメニューのPLAYサブメニュー内の"PLAY MODE?"項目で選択することもできます。

なお本書では特に断りがないかぎり、通常再生モード（Countinuousモード）に設定されている前提で説明します。

再生の基本操作

1. POWERスイッチを押して電源を入れます。
表示窓に"NO DISC"が表示されます。

2. ディスクをセットします。

● CDの場合

2-1. OPEN/CLOSEキーを押して、CDディスクトレイを開きます。
2-2. ラベル面を上にしてCDディスクをのせます。
2-3. OPEN/CLOSEキーを押して、CDディスクトレイを閉じます。

ディスクをセットすると、表示窓に総トラック数と総再生時間が表示されます。

メモ
上記2-3でOPEN/CLOSEキーを押す代わりにPLAYキー（あるいはREADYキー）を押すと、ディスクトレイを閉じて再生が始まります（あるいは再生待機になります）。

● MDの場合

2-1. ラベル面を上にして矢印の向きに、MDディスクをMD挿入口に差し込みます。

ディスクをセットすると、表示窓にディスク名（付いている場合）、総トラック数および総再生時間が表示されます。

3. PLAYキーを押します。
"▶" が点灯し、1トラック目から再生が始まります。
トラック番号表示部に再生中のトラック番号が表示されます。

■ 再生を止めるには
STOPキーを押します。

■ 再生を一時停止するには
READYキーを押します。
"❚❚"が点灯し、再生待機状態になります。再度、再生するにはPLAYキーを押します。

■ ディスクを取り出すには
CDを取り出すには本体のOPEN/CLOSEキーを押します。MDを取り出すには本体のEJECTキーを押します。

■ 希望のトラックを聞くには
本体操作の場合、⏮/⏭キーを使ってトラックを選択します。
リモコン操作の場合、⏮/⏭キーを使って選択するか、または直接数字キーを押して指定します。［→ 24ページ「選曲する」］

モニターについて

ヘッドホンでモニターするには

POWERスイッチの下のPHONESジャックにヘッドホンのプラグを差し込み、ソース切換スイッチでモニターソースを選択、レベルつまみでレベルを調節します。

ソース切換スイッチを"CD"または"MD"に設定すると、それぞれのデッキの出力信号をモニターすることができます。"COMMON"に設定すると、信号を出力している側のデッキをモニターすることができます（詳細については以下の「COMMON出力について」をご覧ください）。

ご注意!

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

COMMON出力について

リアパネルのCOMMON端子、およびソース切換スイッチを"COMMON"に設定した場合のヘッドホン出力端子からは、CDデッキとMDデッキ両方の出力信号が出力されます。ただし両方のデッキが信号を出力している場合、CDメニューのSYSTEMサブメニュー内の"COMMON?"項目で設定されているデッキ（"CD"または"MD"）の信号が優先的に出力されます。

メモ

"COMMON?"項目で設定されているデッキが再生待機や録音待機の場合も、COMMON出力のソースとして優先されます。

表示マスターとリモコンマスターの選択

単純な再生だけであれば本体またはリモコンの操作キーを使って直接実行できますが、デッキ／ディスク情報を表示窓に表示するには再生するデッキを「表示マスター」に設定します。また、さまざまな再生機能をリモコンから行なうには「リモコンマスター」に設定する必要があります。
[→ 19ページ「第5章　表示マスターとリモコンマスター」]

操作ミスを防ぐために、表示マスターとリモコンマスターを一致させてご使用になることをお勧めします。

選曲する

スキップ機能を使う

スキップキー（本体の ⏮ / ⏭ キーまたはリモコンの ⏮ / ⏭ キー）を使ってトラックを選択します。
選択後、PLAYキーを押すと指定トラックの再生が始まります。またREADYキーを押すと指定トラックの頭で再生待機になります。
再生中に ⏮ キーを1回押すと再生中のトラックの頭にスキップします。手前のトラックにスキップするには、⏮ キーを繰り返し押します。

トラックを番号指定する

リモコンの数字キーを使ってトラック番号を直接指定することができます。

2桁や3桁のトラック番号の場合も単純に高い桁の数字から順に入力します。

トラック9の場合：　9を入力（表示は"009"）
トラック12の場合：　1 → 2を入力（表示は"012"）
トラック103の場合：　1 → 0 → 3を入力（表示は"103"）

入力後、PLAYキーを押すと指定トラックの再生が始まります。READYキーを押すと指定トラックの頭で再生待機になります。

サーチする

再生中（または再生待機中）、トラックの中の聞きたい部分をサーチすることができます。

リモコンを使ってサーチするには、サーチキー（◀◀/▶▶キー）を押し続けます。
本体のキーを使ってサーチするには、⏮ / ⏭ キーを押し続けます。押してすぐに離すと、スキップ動作を行なってしまいますので、ご注意ください。

メモ

MP3ディスクに対しては、サーチ機能が働きません。

タイムサーチ機能

特定のトラックの頭からの時間を指定することによって、希望トラックの希望の位置から再生することができます。

基本操作

1. **停止中、再生中または再生待機中、リモコンの数字キーを使って、3桁のトラック番号（トラック2であれば"002"）およびトラック頭からの経過時間（***分**秒）を続けて直接入力します。**

   例：トラック2の1分30秒の位置を指定する場合
   "002 001 30"を入力

メモ

- MP3ディスクの場合、トラック内の時間指定ができません。トラック番号（3桁）を入力した時点で指定トラックの頭から再生が始まります。
- 入力中、表示窓のカウンター表示部は点滅します。
- 時間表示モードにかかわらず、トラック頭からの時間を指定します。

最後の桁まで入力すると自動的に指定位置をロケートします。
停止中または再生中の場合、ただちにその位置から再生を始めます。
再生待機中の場合、その位置で再生待機になります。

ご注意!

存在しない位置を指定すると、その時点で設定操作が解除されます。

応用操作

秒桁まで入力しないでも、PLAYキー（あるいはREADYキー）を押すことにより、入力した指定位置から再生を始める（あるいは指定位置で再生待機する）ことができます。

トラックのみを指定（トラックサーチ）

「選曲する」の「トラックを番号指定する」（ → 24ページ）で説明した方法がこれに当たります。

3桁のトラック番号を指定してからPLAYキーを押すと、再生が始まります。PLAYキーの代わりにREADYキーを押すと、再生待機になります。

時間を分桁まで指定

3桁のトラック番号とトラック頭からの経過分（***分）を入力してからPLAYキーを押すと、再生が始まります。PLAYキーの代わりにREADYキーを押すと、再生待機になります。

例：トラック2の1分00秒の位置を指定する場合
"002 001"を入力

メモ

さらに上記の例では、0 → 0 → 2 → 1　と入力するだけでも、同じ位置をロケートします。

曲の頭で待機する（オートキュー）

オートキュー機能をオンにすると、トラックを選択したときに（トラックの始まりではなく）音の立ち上がり位置で再生待機します。したがって、選曲したあとにPLAYキーを押すと、瞬時に音楽が始まります。
オートキューのオン／オフおよび音の立ち上がり位置の検出レベルは、CD、MD別々に設定することができます。

ご注意!

標準モード以外の録音モードで記録されたMDトラックに対してはオートキューが機能しません（オートキュー機能をオンにしていても、トラックの先頭で待機します）。

メモ

停止中、トラック1の音の立ち上がり位置で再生待機にしたい場合は、停止中にREADYキーを押します。

■ オートキュー機能をオン／オフするには

リモコンのAUTO CUEキーを押すと、表示マスターのオートキュー機能のオン／オフが切り換わります。
MDメニュー、CDメニューのPLAYサブメニュー内の"A_CUE?"項目を使って、それぞれのデッキのオートキュー機能のオン／オフを設定することもできます（初期設定：OFF）。
オンのとき、表示窓に"A.CUE"が点灯します。
オートキュー設定は電源を切っても記憶されています。

■ 音の立ち上がり位置の検出レベルを設定するには

MDメニューあるいはCDメニューのPLAYサブメニュー内の"A_CUE LEVEL?"項目を使って、それぞれのデッキにおける音の立ち上がり位置の検出レベルを設定することができます。設定可能な値は－72dB～－24dBの範囲（6dB間隔）です。

メモ

オートキューポイントをサーチ中、表示窓内の>が点滅します（サーチ中はオーディオ出力はミュートされます）。

1曲再生するごとに待機する（オートレディ）

オートレディ機能をオンにすると、トラックを再生するごとに次のトラックの先頭で再生待機になります。
スキップ機能を使ってトラックをスキップした場合も、選択したトラックの先頭で再生待機になります。

メモ

オートキュー機能もオンになっている場合は、トラックの先頭ではなく、音の立ち上がり位置で再生待機になります。

■ オートレディ機能をオン／オフするには

リモコンのAUTO READYキーを押すと、表示マスターのオートレディ機能のオン／オフが切り換わります。
MDメニュー、CDメニューのPLAYサブメニュー内の"A_READY?"項目を使って、それぞれのデッキのオートレディ機能のオン／オフを設定することもできます（初期設定：OFF)。
オンのとき、表示窓に"A.READY"が点灯します。
オートレディ設定は電源を切っても記憶されています。

繰り返して再生する（リピート再生）

リモコンのREPEATキーを押してリピートモードをオンにすると、ディスクの全トラックを繰り返して再生することができます。
再生中にリピートモードをオンにした場合は、そのまま再生を続け、ディスクの最後まで再生すると再び先頭から再生を始めます。停止中にオンにした場合はPLAYキーを押します。

- MDメニュー、CDメニューのPLAYサブメニュー内の"REPEAT?"項目を使って、それぞれのデッキのリピート機能のオン／オフを設定することもできます。
- プログラム機能、シングル機能、ランダム機能と組み合わせることにより、プログラムリピート、1曲リピート、ランダムリピートもできます。

任意の区間を繰り返して再生する（A-Bリピート再生）

聞きたい区間（A-B）を指定して、繰り返し聞くことができます。

1. 再生中、繰り返して聞きたい区間の始点で、リモコンのA-B REPEATキーを押します。

表示窓に"A-"が点滅します。

2. 繰り返して聞きたい区間の終点で、再度リモコンのA-B REPEATキーを押します。

表示窓に"REPEAT"、"A-B"が点灯し、指定した区間（A-B）を繰り返し再生します。

■ A-Bリピートを解除して再生を続けるには

もう一度A-B REPEATキーを押します。

- ランダムモードやプログラムモードでは、トラックをまたぐA-Bリピートはできません。
- STOPキーを押すと、指定した部分（A-B）は消滅します。

メモ

- トラックをまたいでのA-B区間の設定は行えません。
- MP3ディスクに対してはA-Bリピート機能は働きません。

CDとMDを連続演奏する

CDとMDを交互に再生することができます。

1. 本体のCONT PLAYスイッチをONに設定する。

2. CD（またはMD）を再生する。

CD（またはMD）の再生が終了すると、自動的にMD（またはCD）が再生を開始します。
その後も、ディスクがセットされているかぎり交互に再生を行ないます。

メモ

- CDとMDの連続再生動作中、再生中のデッキが自動的に表示マスターになります。
- リピートモードをオンにしている時は、連続再生せずにリピート動作をします。

■ 連続演奏を止めるには

STOPキーを押します。

タイマー再生をする

市販のタイマーなどを使って外部から本機に電源を投入することにより、希望のタイミングで本機を再生することができます。

1. あらかじめ、本機の電源をタイマーの電源出力から取るように接続します。

2. 再生するディスク（CDまたはMD）をセットします。

3. MDメニューまたはCDメニューのPLAYサブメニュー内の"TIMER PLAY?"項目を使って、それぞれのデッキのタイマー機能をオンにします。
オンにすると表示窓にタイマーアイコンが点灯します。

4. タイマーを希望の時刻にセットします。
希望の時刻になると本機の電源がオンになり、自動的に再生を始めます。

メモ
MDとCDどちらか一方のデッキのみをタイマー再生モードにして本機の電源をオンにしたとき、タイマー再生を始めるデッキが本機の表示マスターになります。

曲のピッチを変える（ピッチコントロール）

オーディオCDやMDを再生するとき、再生ピッチ（音程およびスピード）を変えることができます。MDでは±12.5%、オーディオCDでは＋16%〜－50％の範囲で設定できます。

メモ
MP3ディスクに対してはピッチコントロールが働きません。

■ 本機から行なう場合

1. 停止、再生または再生待機中、本機のPITCHつまみ（CD、MDそれぞれ独立）を押してピッチコントロール機能をオンにします。

2. PITCHつまみを回して、ピッチを設定します。

メモ
MDメニュー、CDメニューのPLAYサブメニュー内の"PITCH STEP?"項目を使って、ピッチコントロールの可変ピッチを0.1%〜1.0%の範囲（0.1%ステップ）で設定することができます（初期設定：0.1%）。

■ リモコンから行なう場合

1. 停止、再生または再生待機中、リモコンのPITCHキーを押してピッチコントロール機能をオンにします。

2. PITCH ＋／－キーを使ってピッチを設定します。
0.1%単位でピッチを変更できます。

メモ
- ピッチコントロールは通常の再生時のみ働きます。録音時はピッチコントロールが働きません。
- MDの場合、ピッチコントロール機能がオンのときには再生信号がデジタル出力されません（CDの場合は出力されます）。
- 再生中にピッチコントロールのオン／オフを切り替えると、再生音が一瞬途切れます。
- MDのLP2モードではピッチコントロール機能は使用できません。

1曲だけ再生する（シングル）

1トラックだけ再生することができます。

1. 停止中にリモコンのP.MODEキー（プレイモードキー）を押して、表示窓に"SINGLE"を点灯させます。
選択したトラックを再生終了後、停止します。

メモ
- リピート機能をオンにしておくことにより、1トラックをリピート再生することができます。
- MDメニュー、CDメニューのPLAYサブメニュー内の"PLAY MODE?"項目を使ってシングル再生モードに設定することもできます。
- 電源を切ってもシングルモードは解除されません。

希望の曲を希望の順に再生する（プログラム再生）

希望のトラックを希望の順にプログラムして再生することができます。
CDでは最大99トラック、MDでは最大25トラックまでプログラムすることができます。

1. 停止中に、表示窓に"Program"を表示するまでリモコンのP.MODEキー（プレイモードキー）を押します。
キャラクター表示部にプログラム数とプログラム総時間が表示されます。

メモ
MDメニュー、CDメニューのPLAYサブメニュー内の"PLAY MODE?"項目を使ってプログラム再生モードに設定することもできます。

2. リモコンの数字キーを使って、プログラムしたいトラック番号を指定し、ENT/YESキーを押します。
トラック番号がプログラムされます。

メモ
本体操作でプログラム設定を行なうには、MULTI JOGダイアルを使ってトラック番号を選んでからENTERキーを押します。

3. 上記の手順2を繰り返してプログラムしていきます。
プログラムするたびに、表示窓のプログラム数とプログラム総時間が増えていきます。

■ プログラム内容を確認するには
再生中または再生一時停止中に、スキップキーを押します。

メモ
プログラムしたトラックの総再生時間がCDで999分59秒、MDで715分49秒以上になるとになると、"－－－m－－s"を表示します。

4. プログラム設定完了後、PLAYキーを押します。
プログラム順に再生が始まります。

ご注意!
PLAYキーを押さずにSTOPキーを押すとプログラムデータが消滅します。

プログラム曲を削除する

1. 停止中にスキップキーを使って、削除したいトラックをトラック表示部に表示します。

2. DEL/CLRキーを押します。

メモ
停止中に直接、DEL/CLRキーを押すと、最後にプログラムしたトラックが削除されます。

プログラム曲を追加する

1. 停止中にスキップキーを使って、追加曲を挿入するプログラム位置の手前のトラックをトラック表示部に表示します。

2. 数字キーを使って追加曲のトラック番号を入力します。

3. ENT/YESキーを押します。

メモ
- 停止中に直接、追加曲のトラック番号を入力してENT/YESキーを押すと、プログラムの最後に追加されます。
- 本体操作でプログラム曲を追加するには、MULTI JOGダイアルを使ってトラック番号を選んでからENTERキーを押します。

プログラム上の制約

- MDディスクでグループモードをオンにしている場合、グループをまたいだプログラムはできません。
- MP3ディスクでディレクトリモードをオンにしている場合、ディレクトリをまたいだプログラムはできません。
- 同じトラックを繰り返してプログラムできます。
- CDでは99トラック、MDでは25トラックまでプログラムできます。それ以上プログラムしようとすると"PGM Full!"が表示され、プログラムできません。

プログラムデータの保持に関して

- プログラム再生が終了して停止したとき、またはSTOPキーを押して停止したとき、プログラムデータは保持されています。
- 電源を切ってもプログラム再生モードは解除されません。ただしプログラムデータは消滅します。
- 停止中にSTOPキーを押すと、プログラムデータが消滅します。
- 停止中にP.MODEキーを押すと、プログラムモードが解除され、プログラムデータが消滅します。

● プログラムデータがないときにPLAYキーを押すと、"PGM Empty!"を表示し、デッキは動作しません。

ランダムに再生する（ランダム再生）

ディスクの全トラックをトラック番号に関係なく、本機がランダムに選曲して再生します。

1. 停止中にリモコンのP.MODEキー（プレイモードキー）を押して、表示窓に"RANDOM"を点灯させます。

メモ

MDメニュー、CDメニューのPLAYサブメニュー内の"PLAY MODE?"項目を使ってランダム再生モードに設定することもできます。

2. PLAYキーを押します。

ランダム再生が始まります。

メモ

電源を切ってもランダムモードは解除されません。

時間表示を切り換える

MDやオーディオCDを再生中（または再生待機中）に本体またはリモコンのTIMEキーを押すと、時間表示が以下の順に切り換わります（カッコ内は表示窓内のTOTAL, REMAINの点灯状態）。

トラック経過時間（無点灯）
トラック残量時間（REMAINが点灯）
ディスクの経過時間（TOTALが点灯）
ディスクの残量時間（TOTALとREMAINが点灯）

メモ

● MD再生時のディスクの残量時間表示は、CDの場合と同じように、最後まで再生するのに要する時間です。MD録音時の残量表示と異なりますのでご注意ください。
● 停止中は常に（TOTAL, REMAINの点灯状態にかかわらず）トータル録音時間を表示します。
● MP3ディスク再生の場合、常にトラック経過時間が表示されます。TIMEキー操作は無効です。
● MDデッキで録音中／録音待機中の時間表示については「MDの残り時間をチェックする」（37ページ）をご覧ください。
● 時間表示設定は電源を切っても記憶されています。

ディスクやトラックの終了を予告表示する（EOM）

トラックおよびディスクの終了が近づいたときに、表示窓内に終了予告表示をすることができます。

終了の何秒前に予告表示を出すかをあらかじめ設定しておくことにより、その時間が来ると表示窓に"EOM"が点滅します。

予告表示設定には、MDメニュー、CDメニューのPLAYサブメニュー内の"EOM TRK?"項目および"EOM DISC?"項目を使います。それぞれ設定範囲は"1s"～"99s"（1sステップ）または"OFF"です。

キーを変える（CDのみ）

オーディオCD再生時に、キーを変えることができます。MP3ディスクやMDに対しては本機能が働きません。

1. **CDメニューのPLAYサブメニュー内の"KEY LEVEL?"項目を使って、キーをどれだけ変えるかの設定を行ないます。**
   セミトーン（半音）単位で±6セミトーン（1/2オクターブ）の範囲で設定することができます。

   選択値：0（キーチェンジなし）、♭1～♭6、#1～#6

2. **本体またはリモコンののKEYキーを押してキーチェンジ機能をオンにします。**
   表示窓に"KEY"が点灯します。
   この状態でCDを再生すると、スピードは変わらず、キーだけが変化して再生されます。

メモ

- KEYキーを押すたびにオフとオンが切り換わりますが、オンのときの表示は""On""ではなく、上記の手順1で行なった設定値が表示されます（例："Key ♭2"）。
- キーチェンジ機能の設定は、電源を切っても記憶されています。

ヒント

- キーチェンジ機能がオンのときにピッチコントロール機能を使うと、再生スピードが変わるだけで音程は変わりません（再生されるキーは"KEY LEVEL?"項目で設定されたキーに固定されます）。
  したがって"KEY LEVEL?"を"0"に設定してキーチェンジ機能をオンにしておくと、ピッチコントロールを使って音程を変えずにスピードだけを変えることができます。

ご注意!

- キーコントロール機能を使用している時に再生音が震えているように聞こえることがありますが、これはＣＤの再生音を特殊処理している為に発生するもので、故障ではありません。

フェードイン／フェードアウト再生（CDのみ）

CDの再生を開始するときにフェードイン、再生を終了するときにフェードアウトすることができます。MDに対しては働きません。

1. **CDメニューのVOL FUNCサブメニュー内の以下のメニュー項目を使って、動作の設定を行ないます。**

FADE IN

フェードイン時に所定のレベルに達するまでの時間を、1秒～30秒の範囲（1秒ステップ）で設定します（初期設定：3秒）。

FADE OUT

フェードアウト時に完全に無音になるまでの時間を、1秒～30秒の範囲（1秒ステップ）で設定します（初期設定：3秒）。

FADE MODE

フェードアウト完了後に、再生を継続するか再生待機になるかを設定します。

Play：　再生を継続します。
Ready：　再生待機になります。

2. **停止時または再生待機時に、FADERキーを押します。**
   フェードインしながら再生が始まり、設定したフェードインタイム後に所定のレベルに達します。

3. **フェードアウトしたいところで、FADERキーを押します。**
   フェードアウトが始まり、設定したフェードアウトタイム後に無音になります。
   無音になった後、フェードモード設定に従って、再生を継続するか、または再生待機になります。

出力ボリューム調整（CDのみ）

CD再生出力信号のボリュームを調整することができます。アナログ出力（ヘッドホン出力を含む）とデジタル出力の両方に対して働きます。
MDに対しては働きません。

1. **CDメニューのVOL FUNCサブメニュー内の"PLAY VOLUME?"項目を使って、設定を行ないます。**
   "－－－ dB"(－∞) および "－54dB"～"+18dB"の中から選択することができます。

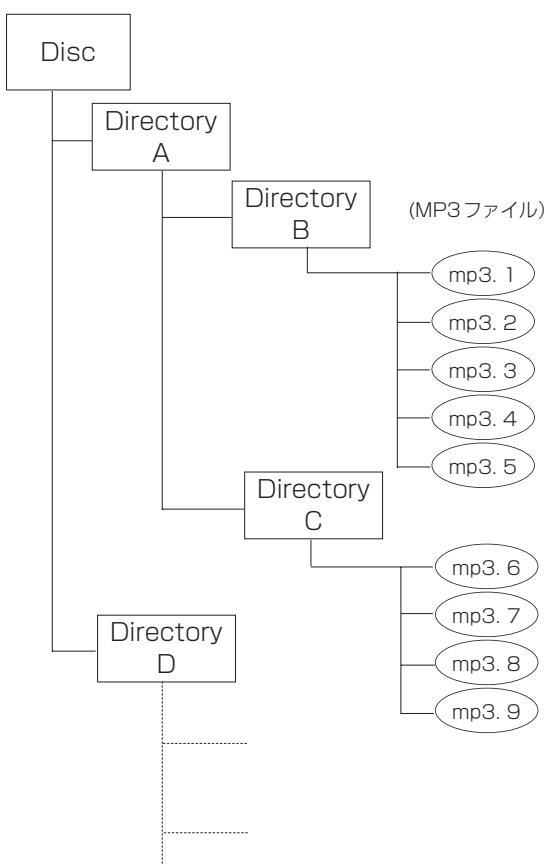
メモ

デジタル領域でボリューム調整を行ないますので、プラス方向に設定してオーバーレベルになるとデジタル歪みを生じます。

MP3ファイルのディレクトリ再生

MP3ファイルを収録したCDの中には、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3ファイルをディレクトリに収めているものがあります。さらに、いくつかのディレクトリをまとめて1つのディレクトリに収めるといった、複数階層構造のものもあります。
本機では、ディレクトリモードをオンにすると、選択されたディレクトリ内のファイルのみが再生対象になります。
オフにすると、これらのディレクトリ構造が無視され、ディスクに収録されているすべてのMP3ファイルが再生対象になります。
プログラム再生、リピート再生などもすべてディレクトリ内で行なわれます。

メモ

- 各MP3ファイルが「トラック」として扱われます。
- すぐ下の階層にMP3ファイルが収納されていないディレクトリは再生対象として選択できません。たとえば下図のように、ディレクトリAの中にディレクトリBとCがあり、ディレクトリBおよびCの中にMP3ファイルが収納されている場合、ディレクトリAを再生対象に選択することはできませんが、ディレクトリBやCを再生対象ディレクトリとして選択することができます。

ディレクトリ再生の設定

1. リモコンマスターをCDに設定しているとき、DIR/GROUPキーを押します。
表示窓に"DIR ON"または"DIR OFF"が表示されます。
DIR/GROUPキーを押したときに現在の設定が変化します。たとえば、ディレクトリ再生モードがオフのときに押すと、オンになって"DIR ON"が表示されます。

- CDメニューのVOL FUNCサブメニュー内の"DIR MODE?"項目を使って選択することもできます。

2. 停止中、リモコンのCD SEARCHキーを使って、ディレクトリを選択します。
CD SEARCHキーを押すと、表示窓に選択中のディレクトリ名が表示されます。

MP3 ACTIONの設定

MP3ファイル再生時、MP3ファイルの再生に失敗した時(Decord Err!)、再生を継続するか停止するかの方法について説明します。

1. CDメニューのPLAYサブメニュー内の”MP3 AITION?”項目を使って、設定を行います。
"Skip"、"Stop"の選択を行います。

●Skip
MP3ファイルの再生に失敗（ Decord Err が発生）した場合、次のトラックの再生を行います。
ただし、次のトラックがない（リピートがオフでディスクの最終トラック、またはプログラムの最後）場合、停止状態となります。
（ディスプレイに"Decord Err!"を表示します。）

●Stop
MP3ファイルの再生に失敗（Decord Err が発生）した場合、停止状態となります。
（ディスプレイに"Decord Err!"を表示します。）

メモ

ダビングモード時にMP3ファイルの再生に失敗した場合は、設定にかかわらず常に停止状態となります。

MDのグループ再生

本機では、MDトラックをグループ分けすることができます。
グループモードをオンにすると、選択したグループ内のトラックのみが再生対象になります。つまり見かけ上、選択グループ内のトラックのみが記録されているディスクをセットしているのと同じことになります。したがって、プログラム再生、リピート再生などもすべてグループ内で行なわれます。

グループ再生の設定

1. リモコンマスターをMDに設定しているとき、DIR/GROUPキーを押します。

表示窓に"GRP ON"または"GRP OFF"が表示されます。
DIR/GROUPキーを押したときに現在の設定が変化します。たとえば、グループ再生モードがオフのときに押すと、オンになって"GRP ON"が表示されます。

● MDメニューのVOL FUNCサブメニュー内の"GRP MODE?"項目を使って選択することもできます。

2. 停止中、リモコンのMD SEARCHキーを使って、グループを選択します。

MD SEARCHキーを押すと、表示窓に選択中のグループ番号が表示されてからグループ名が表示されます。

ご注意!

● グループモードをオンにすると、どのグループにも属さないトラックは再生できません。
● グループモードをオンにすると、録音することができません。

■ グループを作成／解除するには
MDメニューの"EDIT"サブメニューを使って、グループの作成や解除を行なうことができます。詳しくは「MDの編集」の「グループを作る」（ → 41ページ）および「グループを解除する」（ → 41ページ）をご覧ください。

■ グループ名を付けるには
MDメニューの"TITLE"サブメニューを使って、グループ名を付けることができます。詳しくは「グループ名を付ける」（ → 43ページ）をご覧ください。

第8章　CDをMDにダビングする

本機では、CDディスクをMDディスクに簡単にダビングすることができます。ディスク全体または特定のトラックをダビングします。

ダビングの基本操作

あらかじめ、ダビング元になるCDディスクをCDデッキにセットし、ダビング先になるMDディスクをMDデッキにセットします。

CDディスク全体をダビングする場合

CD停止中、本体またはリモコンのDUBBINGキーを押します。

CDの希望のトラックをダビングする場合

CDが希望のトラックを再生中または再生待機中、本体またはリモコンのDUBBINGキーを押します。

トラックのダビングを終えると両方のデッキが停止します。

メモ

● ダビングは、設定されている録音モードと録音スピードに従って実行されます（以下参照）。

録音モードを設定する

MDメニューのRECサブメニューの"REC MODE?"項目を使って、録音モードを以下の中から選択することができます。

選択肢	モード	表示窓の点灯
ST	ステレオ標準録音モード	無点灯
MONO	モノラル録音モード	"MONO"
LP2	ステレオ２倍録音モード	"LP2"
LP4	ステレオ４倍録音モード	"LP4"

● "MONO"を選ぶと、ヘッドホン端子やリアパネルのオーディオ出力端子の左右チャンネルから同じ信号が出力されます。

● モノラルモードの録音時間は、ステレオ標準録音の２倍になります。

● LP2、LP4モードの録音時間は、ステレオ標準録音のそれぞれ２倍、４倍になります。

メモ

● MDの録音残り時間表示は、現在の録音モード設定によって変わります。

● ひとつのディスクに、異なるモードの録音を混在させることもできます。

● LP4モード（４倍録音モード）は特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。そのため、録音されるソースによってはごくまれに瞬間的なノイズが発生する恐れがあります。音質を重視する場合はLP4モードを避けることをお勧めします。

録音スピードを設定する

MDメニューのRECサブメニューの"REC SPEED?"項目を使って、ダビングモード時のスピードを"NORMAL"または"HIGH"に設定します。初期設定は"HIGH"です。

"NORMAL"に設定すると、通常再生をしながらダビングを行ないます。

"HIGH"に設定すると、以下のスピードでダビングを行ないます。

MD録音モード	ソースディスク	ダビング速度
ST(標準)モード	オーディオCD	４倍速
MONO、LP2 またはLP4モード	オーディオCD	２倍速
ーーー	MP3ディスク	等速

ヒント

● 音楽を聴きながらダビングする場合は"NORMAL"に設定し、効率的にダビングする場合は"HIGH"に設定するとよいでしょう。

● "NORMAL"設定時、CDにピッチやキーチェンジをかけた状態でMDにダビングすることができます。

第9章　外部ソースをMDに録音する

前述のように、本機ではCDからMDへのダビングが簡単にできますが、もちろん通常のMDデッキのように外部のソースを録音することもできます。

録音の基本操作

録音モードを設定し、入力ソースを選択し、入力信号をモニターしながら録音レベルを調節してから、録音を実行するまでの手順を説明します。

以下の手順では、本機の電源がオンになっていて、本機のMDデッキに録音可能なMDディスクがセットされ停止していることを前提にしています。

録音モードを設定する

1. MDメニューのRECサブメニューの"REC MODE?"項目を使って、録音モードを設定します。

詳細については、前章「CDをMDにダビングする」（33ページ）をご覧ください。

入力ソースを選択する

2. 本体またはリモコンのINPUT SELキーを使って、入力ソースを選択します。

キーを押すたびに"ANALOG"と"OPTICAL"が切り換わります。

ANALOG：　ANALOG INPUT端子に入力される信号が録音ソースになります。

OPTICAL：　DIGITAL (OPTICAL) INPUT端子に入力される信号が録音ソースになります。

● 入力選択は電源を切っても記憶されています。

ソース信号の入力レベルは表示窓にメーター表示されます。

入力信号をモニターする

3. 本体またはリモコンのRECORDキーを押します。

MDデッキが録音待機になり、READYインジケーターとRECORDインジケーターが点灯します。また表示窓に"REC"と"II"が点灯します。

ご注意!

● 以下のようなMDディスクがセットされている場合、録音待機状態になりません。

・MDディスクが誤消去防止状態の場合（"W_Protected!"を表示）
・ディスクが容量いっぱい録音されている場合（"Disc Full!"を表示）
・トラック数の限界まで録音されている場合（"Track Full !"を表示）

● デジタル入力（OPTICAL）を選択している場合、正常なデジタル入力がないと"D-IN UNLOCK!"が表示され、録音することができません。

メモ

● 途中まで録音済みのMDを入れると、録音済み部分の終わりを検出して待機します。

録音待機になると、MD入力信号をモニターすることができます。
ヘッドホンまたは外部のオーディオシステムを使ってモニターをします。

メモ

● 外部モニターの場合、MD OUTPUTS端子をモニターシステムに接続してください。あるいはCOMMON OUTPUTS端子を使いますが、この場合はCDメニューのSYSTEMサブメニューの"COMMON?"項目の設定を適切に行なうことが必要です。モニターに関しての詳細は「モニターについて」（24ページ）をご覧ください。

● MDディスクがセットされていない場合でも、RECORDキーを押すと入力信号をモニターすることができます。このとき、表示窓に"Monitor"と表示されます。

● 入力モニターを解除するにはSTOPキーを押します。

録音レベルを調節する

入力信号をモニターおよびメーター監視しながら、録音レベルを調節します。

4. MDメニューのVOL FUNCサブメニュー内の"REC VOLUME?"項目を使って、レベルを調節します。

入力ソースが"ANALOG"の場合、さらに本体のINPUTつまみ（L, R）を使って左右チャンネル個別にレベルを調節することができます。

録音を実行する

5. 録音待機状態のとき、PLAYキーを押します。

録音が始まります。

● 録音を停止するときはSTOPキーを押します。
STOPキーを押した後、"UTOC Writing!"が表示されてU-TOCがディスクに書き込まれます。

ご注意!

"UTOC Writing "が点滅中は録音した内容をMDに記録中です。電源プラグを電源コンセントから抜いたり、本機を揺らしたりすると、正しく記録できません。

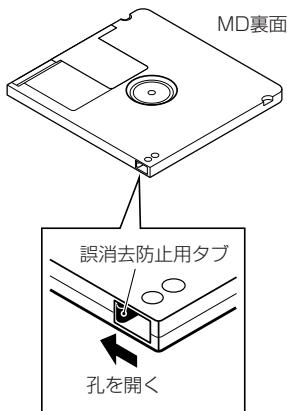
● 録音を一時停止するときはREADYキーを押します。
● MDディスクを取り出すには、停止時に本体のEJECTキーを押します。

録音するときのご注意

“W_Protected !”を表示したときは

● MDが録音不可状態になっています。または再生専用のMDが入っています。
● 誤消去防止用タブをずらして孔を閉じると、録音ができるようになります。

録音内容を誤って消さないために

● MDは録音後、誤消去防止用のタブをずらし、孔を開いた状態にすると、録音できなくなります。

トラック番号を付ける

曲ごとにトラック番号を付けておくと、編集や再生時の頭出しに便利です。トラック番号は録音時に自動あるいは手動で付けることができるほか、録音中や録音後に付けることもできます。

自動でトラック番号を付ける（オートトラック機能）

オートトラック機能を使って、録音中に自動でトラック番号を付けることができます。

オートトラックのモードを、リモコンのAUTO TRACKキーで "－**dB"、"DD"、"Time"、"OFF"の中から選択します。

● MDメニューのRECサブメニュー内の"A_TRK?"項目で選択することもできます。（"－**dB" は "A_TRK?"項目の選択では、"Level"を選択してください。）

"－**dB"を選択した場合

オートトラック動作レベル以下の入力信号が４秒以上続くと自動的にトラック番号が更新されます。この動作レベルは、MDメニューのRECサブメニュー内の"A_TRK LEVEL?"項目を使って設定します。設定範囲は－24dB～－72dB（6dBステップ）です。

"DD"を選択した場合

デジタルソース録音時に、ソースのトラック番号更新に合わせてトラック番号が更新されます。アナログソース録音時には、上記の"－**dB"を選択した場合と同じように、入力レベルに応じてトラック番号が更新されます。

"Time"を選択した場合

オートトラック動作時間で設定した時間が経過すると自動的にトラック番号が更新されます。この動作時間は、MDメニューのRECサブメニュー内の"A_TRK TIME?"項目を使って設定します。設定範囲は１分～10分（１分ステップ）です。

メモ

オートトラック機能の設定やオートトラック動作レベル、オートトラック動作時間設定は、電源を切っても保持されます。

録音中にオートトラック動作時間を変更した場合、次のトラックから変更後の時間が有効となります。

手動でトラック番号を更新する

録音中に、希望の個所でRECORDキーを押すことにより、トラック番号を更新することができます。

録音後にトラック番号を更新する

編集操作でトラックを分割することにより、トラックを追加することができます。[→ 39ページ「トラックを分割する」]
また編集操作でトラックを結合することにより、トラックを減らすことができます。[→ 40ページ「トラックを結合する」]

フェードイン／フェードアウト録音

MDの録音を開始するときにフェードイン、録音を終了するときにフェードアウトすることができます。

以下の手順では、基本的な録音の準備が整い、録音可能なMDディスクがセットされて停止していることを前提にしています。

1. MDメニューのVOL FUNCサブメニュー内の以下のメニュー項目を使って、動作の設定を行ないます。

FADE IN

フェードイン時に所定のレベルに達するまでの時間を、1秒〜30秒の範囲（1秒ステップ）で設定します（初期設定：3秒)。

FADE OUT

フェードアウト時に完全に無音になるまでの時間を、1秒〜30秒の範囲（1秒ステップ）で設定します（初期設定：3秒)。

FADE MODE

フェードアウト完了後に、録音を継続するか録音待機になるかを設定します。

Rec：　録音を継続します。
Ready：　録音待機になります。

2. 録音待機時に、FADERキーを押します。
フェードインしながら録音が始まり、設定したフェードインタイム後に所定の録音レベルに達します。

3. フェードアウトしたいところで、FADERキーを押します。
フェードアウトが始まり、設定したフェードアウトタイム後に無音になります。
無音になった後、フェードモード設定に従って、録音を継続するか、または録音待機になります。

メモ

- フェードインまたはフェードアウトだけ実行することもできます。
- フェードインで録音を開始した場合にはタイムマシン録音動作（次項参照）は無効になります。

タイムマシン機能

タイムマシン録音機能を使うと、最大で6秒前にさかのぼって録音を始めることができます。

これは、入力信号が本機内部のバッファにいったん蓄えられてから録音されるためで、常にバッファ内には設定時間分（最大6秒）のデータが蓄えられています。

以下の手順では、基本的な録音の準備が整い、録音可能なMDディスクがセットされて停止していることを前提にしています。

1. MDメニューのRECサブメニュー内の"TM_REC?"項目を使って、バッファに蓄えるデータの時間を設定します。

設定できる値は"OFF"、"1sec"〜"6sec"（1secステップ）です（初期設定はOFF)。
"OFF"に設定するとタイムマシン機能が働きません。
"1sec"〜"6sec"はバッファに蓄えられる時間設定です。

2. RECORDキーを押して録音待機にします。

3. PLAYキーを押して録音を開始します。
設定した時間分さかのぼって録音が始まります。

4. STOPキーを押して録音を停止します。

メモ

フェードイン（前項参照）で録音を開始した場合にはタイムマシン録音動作は無効になります。

録音済みの個所を消しながら録音する（オーバーライト）

オーバーライト機能では、テープに録音する場合と同じように、録音済みの不要な部分を消しながら、その上に録音することができます。

以下の説明は、基本的な録音の準備が整い、録音可能なMDディスクがセットされて停止していることを前提にしています。

1. オーバーライト録音を開始したい位置にロケートし、READYキーを押して再生待機状態にします。

あるトラックの頭からオーバーライトを始める場合、SKIPキーまたは数字キーを使ってトラックを選んでからREADYキーを押します。
あるトラックの途中からオーバーライトを始める場合、SKIPキーまたは数字キーを使ってトラックを選んでからPLAYキーを押して再生を始め（サーチ機能を使うこともできます）、希望の位置でREADYキーを押します。

2. RECORDキーを押します。

"Over Write"を表示して録音待機状態になります。

3. 必要に応じて録音入力レベルを調節します。

4. PLAYキーを押して、オーバーライト録音を始めます。

ご注意!

表示窓に"SINGLE"、"RANDOM"または"PROGRAM"が点灯しているときは、オーバーライト録音ができません（上記手順２を行なうと"Can't Rec"を表示）。

シンク録音する

シンク録音機能をオンにすると、本機で外部入力ソースを録音する場合、ソース信号入力があったときに自動的に録音を開始し、ソース信号が４秒以上途絶えると自動的に録音待機になります。

以下の説明は、基本的な録音の準備が整い、録音可能なMDディスクがセットされて停止していることを前提にしています。

1. リモコンのSYNCキーを押して、シンク録音モードのオン／オフを切り換えます。

メモ

MDメニューのRECサブメニュー内の"SYNC?"項目を使って、シンク録音機能のオン／オフを設定することもできます。

2. MDメニューのRECサブメニュー内の"SYNC LEVEL?"項目を使って、本機が入力のありなしを判断する境界レベル (*) を設定します。

(*) 境界レベル以下の信号は無信号と見なされます。
設定可能な値は－72dB～－24dBの範囲（6dB間隔）です（初期設定：－54dB)。

3. RECORDキーを押して録音待機状態にします。

ご注意!

このときすでにソースが入力されていると、すぐに録音を開始します。

4. ソース信号を入力します。

入力信号を検出して自動的に録音が始まります。
入力信号が４秒以上続けて境界レベル以下になると、録音待機状態になります。

ご注意!

シンク録音待機中にPLAYキーを押して手動で録音を始めることはできません。

5. 手動で録音を停止するにはSTOPキーを押します。

メモ

- シンク録音中にREADYキーを押しても、録音待機になりません（録音を止めることができません)。
- シンク録音中、INPUT SELキーは働きません。

ご注意!

シンク録音後、録音待機状態のまま電源をオフにすると、録音データが消去されます。かならずSTOPキーを押して（U-TOCを書き込んで）から電源をオフにしてください。

MDの残り時間をチェックする

MDの録音中（または録音待機中）に本体またはリモコンのTIMEキーを押すと、トラック経過時間とディスク残量時間を交互に表示します。

表示窓の点灯	時間表示内容
無点灯	トラック経過時間
REMAINまたは REMAINとTOTAL点灯	ディスク残時間

時間表示設定は電源を切っても記憶されています。

第10章　MDの編集

録音したトラックを消したり、移動したり、分割したり、2つのトラックをつなぐなどの編集ができます。またトラックをグループ分けすることができます。

編集操作について

すべてのMD編集はMDメニューのEDITサブメニューを使って行ないます。

EDITサブメニューのメニュー項目を選択したあとの操作は、項目によって異なります。各メニュー項目の具体的な操作については以下の個別の編集機能説明の中で述べます。

メモ

誤消去防止状態のディスクは録音だけでなく編集もできません。MDメニューのEDITサブメニューを選択しようとすると、"W_Protected!"が表示されます。

編集対象トラック／ポイントについて

編集メニュー項目のいくつかは、あらかじめ編集対象のトラックやポイントを再生状態または再生待機状態にしておかないと、項目自体を選択できません（"Can't Edit!"を表示）。これらはトラックやポイントに対して編集を行なう項目で、"DIVIDE"、"COMBINE"、"MOVE"がこれに当たります（"ERASE TRK"は設定画面に入ってからトラックを選ぶこともできます）。

編集を実行しないで途中でやめるには

設定画面や確認画面（"Sure?"）まで進んでから編集操作を中止するには、NOキー、MDのSTOPキーまたはMD MENUキー（リモコンの場合はMENUキー）を押します。

ご注意!

編集後、MDを入れたまま（"TOC"点灯）電源を切ると、U-TOC（ユーザーTOC）が記録されず、編集が無効になります。

編集操作を取り消す（UNDO）

最後に行なった編集操作を取り消すことができます。

1. MDデッキを停止します。

2. MDメニューのEDITサブメニューの"UNDO?"項目を選択します。

"Undo> xxxx"（xxxxは最後に行なった編集項目）が表示されます。

3. 本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。

"Sure?"が表示されます。

4. 本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。

最後に行なった編集操作が取り消されます。

全トラックを消去する（ERASE DISC）

ディスクの全トラックを一度に消去することができます。

1. MDメニューのEDITサブメニューから"ERASE DISC?"項目を選択します。

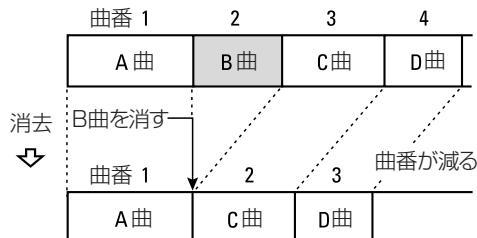
"Sure?"が表示されます。

2. 本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。

ディスクの全トラックが消去されます。消去が完了すると"Complete"が表示されます。

トラックを消去する（ERASE TRK）

消去したいトラックを１トラックずつ消去することができます。

（例）：トラック２のB曲を消去するとき

あらかじめ消去するトラックを指定する方法

1. 消去したいトラックを再生または再生待機にします。
2. MDメニューのEDITサブメニューから"ERASE TRK?"項目を選択します。
   "Sure?"が表示されます。
3. 本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。
   トラックが消去されます。消去が完了すると"Complete"が表示されます。

消去するトラックをメニュー上で指定する方法

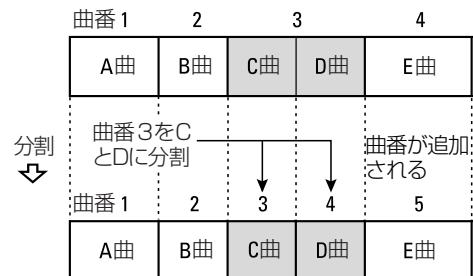
1. MD停止中、MDメニューのEDITサブメニューから"ERASE TRK?"項目を選択します。
   "Track> ###"（###は最終トラック番号）が表示されます。
2. 本体のMULTI JOGダイアルまたはリモコンのMENU −/＋キーを使って、消去したいトラックを選択します。
3. 本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。
   "Sure?"が表示されます。
4. 本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。
   トラックが消去されます。消去が完了すると"Complete"が表示されます。

メモ

トラックを消去すると、次トラック以降のトラック番号が１つずつ繰り上がります。

トラックを分割する（DIVIDE 機能）

トラックを分割することができます。

（例）：トラック３のC曲とD曲を２つに分割するとき

1. MDメニューのEDITサブメニューの"DIVIDE?"を表示します。
2. トラックを分割したいポイントの手前から再生を行ない、分割したいポイントで本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。
   "Point> 0"が表示され、確認のために分割ポイント（＝上記のキー操作を行なったときのポイント）の直後の数秒間が繰り返し再生されます。

ヒント

上記の手順１と２の代わりに、最初に分割したいポイントで再生待機状態にしてから、MDメニューのEDITサブメニューの"DIVIDE?"を選択しても、上記と同じように"Point> 0"が表示され、確認のために分割ポイント直後の数秒間が繰り返し再生されます。

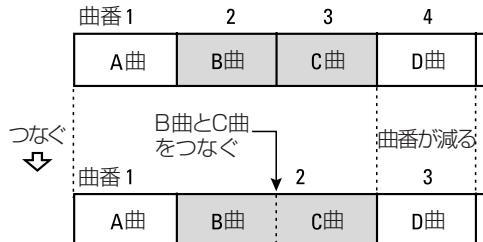
3. 必要に応じて、本体のMULTI JOGダイアルまたはリモコンのMENU −/＋キーを使って、分割するポイントを調整します。
4. ポイントが設定できたら、本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。
   "Sure?"が表示されます。
5. 本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。
   トラックが分割されます。分割が完了すると"Complete"が表示されます。

メモ

トラックに名前が付いている場合、分割されたトラックの後ろのトラックには名前が付きません。

トラックを結合する（COMBINE 機能）

２つの連続したトラックを結合して１つのトラックにすることができます。

例）：Ｂ曲とＣ曲をつなぐとき

メモ

異なるモードで録音したトラック同士を結合することはできません。

1. 結合したい２つのトラックのうちのあとの方のトラックを再生または再生待機にします。

たとえばトラック２とトラック３を結合する場合、トラック３を再生または再生待機にします。

2. MDメニューのEDITサブメニューの"COMBINE?"を選択します。

"Track OK?"が表示され、確認のために、手前のトラックの最後の３秒間とあとのトラックの頭の３秒間が繰り返し再生されます。

3. 本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。

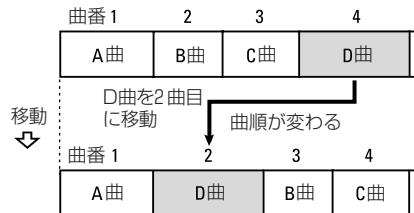
トラックが結合されます。結合が完了すると"Complete"が表示されます。

メモ

両方のトラックに名前が付いている場合、結合されたトラックには前のトラックの名前が付きます。

トラックを移動する（MOVE 機能）

トラックを移動してトラック順を変更することができます。

（例）：トラック４のＤ曲をトラック２に移動するとき

1. 移動元のトラックを再生または再生待機にします。

メモ

この操作を行なわずに停止状態で以後の操作を行なうと、自動的に最終トラックが移動元に設定されます。

2. MDメニューのEDITサブメニューから"MOVE?"項目を選択します。

"Move xxx > ###"が表示されます。
（xxxは移動元トラック番号、###は移動先トラック番号）

3. 本体のMULTI JOGダイアルまたはリモコンのMENU－/＋キーを使って、移動先のトラック番号を選択します。

4. 本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。

"Sure?"が表示されます。

5. 本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。

トラックが移動します。移動が完了すると"Complete"が表示されます。

グループを作る

本機では１枚のMDディスクの中のトラックをグループ分けして、グループ単位の再生を行なうことができます。
[→ 32ページ「MDのグループ再生」]

グループを作るには「現在録音されているトラックの何番（スタートトラック）から何番（エンドトラック）までを１つのグループにまとめる」という指定を行ないます。

1. **停止中にMDメニューのEDITサブメニューから"GRP CREATE?"項目を選択します。**
   "ST Trk> 001"が表示されます。
   この表示のときにスタートトラックを選択します。
2. **MULTI JOGダイアルを使って、スタートトラックを選択します。**
3. **本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。**
   "ED Trk> ###"が表示されます。
   この表示のときにエンドトラックを選択します。
4. **MULTI JOGダイアルを使って、エンドトラックを選択します。**
5. **本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。**
   "Sure?"が表示されます。
6. **本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。**
   グループが作成されます。完了すると"Complete"が表示されます。

グループ作成時のディスク名

グループを作成すると、グループ情報およびグループ名を含むディスク名が自動的に作成されます。

例として、元のディスク名が"My Best"というディスクがあり、トラック１〜４をまとめて"Jazz"というグループにまとめ、トラック５〜８を"Latin"というグループにまとめた場合、以下のようなディスク名になります。

0; My Best//1-4; Jazz//5-8; Latin//

ディスク名もグループ名も付けない場合は、以下のディスク名になります。

0; //1-4; //5-8; //

グループを解除する

グループを解除することができます。

1. **停止中にMDメニューのEDITサブメニューから"GRP CANCEL?"項目を選択します。**
   "Group No> 01"が表示されます。
2. **MULTI JOGダイアルを使って、解除するグループ番号を選択します。**
   現在ある個々のグループ番号のほかに"ALL"（全グループ）を選択することもできます。
3. **本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。**
   "Sure?"が表示されます。
4. **本体のENTERキー（またはYESキー）、またはリモコンのENT/YESキーを押します。**
   ループが解除されます。完了すると"Complete"が表示されます。

第11章　名前を付ける

MDメニューのTITLEサブメニューを使って、MDディスクのディスク名、トラック名あるいはグループ名を付けることができます。

ご注意!

編集メニューと同じように、名前を設定後にMDを入れたまま（"TOC"点灯）電源を切るとU-TOC（ユーザーTOC）が記録されず、付けた名前が無効になります。

ディスク名を付ける

1. 停止中、MDメニューのTITLEサブメニュー内の"TITLE INPUT?"項目を選択します。

"Title> Disc"が表示されます。

2. "Title> Disc"を表示中、本体のENTERキー（またはリモコンのENT/YESキー）を押します。

キャラクター表示部に現在のディスク名が表示され、名前編集モードになります（ カーソルが点滅します)。

メモ

- 現在名前がない場合は、何も表示されません（カーソル点滅のみ)。
- グループが設定されている場合、デフォルトで本機が自動的に付けるディスク名が表示されます。［ → 41ページ「グループを作る」］

3. 以下の要領に従って名前を付け、本体のMD MENUキー（またはリモコンのMENUキー）を押して確定します。

ご注意!

グループ設定をしているディスクの場合、グループモードをオンにして名前を付けてください。グループモードをオフにしてディスク名を変更すると、グループ設定が無効になる場合があります。

名前の入力方法

キャラクター表示部にカーソルが点滅した状態が名前編集モードです。名前の入力は本体よりもリモコンを使って行なうほうが効率的です。ここではリモコンからの操作を中心に説明します。

メモ

キーボードを接続すると、さらに効率的に名前を入力することができます。［ → 44ページ「キーボードを使って名前を入力する」］

名前の入力画面では、以下の要領で名前を入力します。

■ 入力する文字種を選択するには

リモコンのCHARキーを押すと以下の３通りの文字種が切り換わります

英小文字／記号（表示窓に無表示）
英大文字／記号（表示窓に"CAPS"点灯）
カタカナ（表示窓に"カタカナ"点灯）

本体操作の場合：DISPLAYキーを使います。

■ 入力するには

数字キーを使ってカーソルの位置に文字を入力します。入力したい文字の数字キーを、希望の文字が表示されるまで必要な回数だけ押します。

本体操作の場合：MULTI JOGダイアルを使います。

■ カーソルを移動するには

スキップキーを使います。
ただし別の数字キーを操作すると自動的にカーソルが右に移動します。

本体操作の場合：⏮/⏭キーを使います。

■ 文字を削除するには

削除したい文字にカーソルを合わせてDEL/CLRキーを押します。

本体操作の場合：NOキーを使います。

■ 文字を挿入するには

挿入したい位置にカーソルを置き、INSキーを押します。

本体操作の場合：YESキーを使います。

■ 文字を修正するには

修正したい文字にカーソルを合わせて、希望の文字を入力します。

ご注意!

編集メニューと同じように、名前を設定後、MDを入れたまま（"TOC"点灯）電源を切ると、U-TOC（ユーザーTOC）が記録されず、付けた名前が無効になります。MDをイジェクトするときにU-TOCが記録されます。

トラック名を付ける

方法1

最初に名前を付けたいトラックを選択する方法です。

1. **名前を付けたいトラックを再生または再生待機にします。録音中であれば現在のトラックに名前を付けることができます。**
2. **MDメニューのTITLEサブメニュー内の"TITLE INPUT?"項目を選択し、本体のENTERキー（またはリモコンのENT/YESキー）を押します。**
   キャラクター表示部に現在のトラック名が表示され、名前編集モードになります（ カーソルが点滅します)。

メモ

現在名前がない場合は、何も表示されません（カーソル点滅のみ)。

3. **上記の「名前を付ける」の要領に従って名前を付け、本体のMD MENUキー（またはリモコンのMENUキー）を押して確定します。**

方法2

最初に名前入力モードを選択する方法です。

1. **停止中、MDメニューのTITLEサブメニュー内の"TITLE INPUT?"を選択します。**
   "Title> Disc"が表示されます。
2. **本体のMULTI JOGダイアル（またはリモコンのMENU −/+キー）を使って、名前を付けるトラックを選択し、本体のENTERキー（またはリモコンのENT/YESキー）を押します。**
   たとえばトラック3を選択する場合、"Title> 003"を選択します。
   選択すると、キャラクター表示部に現在のトラック名が表示され、名前編集モードになります（ カーソルが点滅します)。

メモ

現在名前がない場合は、何も表示されません（カーソル点滅のみ)。

3. **上記の要領に従って名前を付け、本体のMD MENUキー（またはリモコンのMENUキー）を押して確定します。**

グループ名を付ける

1. **停止中、MDメニューのTITLEサブメニュー内の"TITLE GRP?"項目を選択します。**
   "Title Grp> ## "（##はグループ番号）が表示されます。
2. **本体のENTERキー（またはリモコンのENT/YESキー）を押します。**
   キャラクター表示部に現在のグループ名が表示され、名前編集モードになります（カーソルが点滅します)。またトラック番号表示部にグループ番号が点滅します。
3. **上記「名前の入力方法」の要領に従って名前を付け、本体のMD MENUキー（またはリモコンのMENUキー）を押して確定します。**

第12章　コンピュータキーボードを使った操作

IBM PC互換機用、PS/2インタフェースのキーボードを本機フロントパネルのに接続することにより、キーボードを使って本機を操作することができます。各種コントロールが可能ですが、特に名前の入力を効率的に行なうことができます。

キーボードタイプの設定

接続するキーボードに合わせて、キーボードタイプを選択します。

1. **CDメニューのSYSTEMサブメニュー内の"KEY-BOARD?"項目を使って、タイプを選択します。**
   日本語対応キーボードの場合、"JP"を選択します。
   英語対応キーボードの場合、"US"を選択します。

キーボードを使って名前を入力する

パソコンの文字入力と同じ感覚で、MDのディスク名、トラック名、グループ名を入力することができます。

■ タイトル編集メニューに入るには

SHIFT + F7 キーで、グループタイトル編集メニューに入ります（"Title Grp>##"を表示）。
SHIFT + F8 キーで、ディスク／トラックタイトル編集メニューに入ります（"Title> ##"を表示）。

■ 入力する文字種を選択するには

CAPSキー：「英大文字」を選択／解除します。
カタカナキー：「カタカナ」を選択／解除します。
上記のどちらも解除のとき：「英小文字」になります。

■ 入力するには

数字キー、文字キーで直接入力

■ カーソルを移動するには

←／→キーを使います。

■ 文字を削除するには

Deleteキー：カーソル位置の文字を削除します。
Back Spaceキー：カーソル手前の文字を削除します。

■ 文字を挿入するには

希望の位置でInsertキーを押します。

■ 文字を修正するには

カーソルを合わせて上書きします。

キーボード操作一覧

名前の入力だけでなく、トランスポートコントロール、編集など、各種動作をキーボードからコントロールすることができます。以下に、キーボードのキーの機能をまとめておきます。

キーボードのキー	動作
F1 キー	MD ⏮ キーと同じ
F2 キー	MD ⏭ キーと同じ
F3 キー	MDキーと同じ
F4 キー	MD STOPキーと同じ
F5 キー	MD PLAYキーと同じ
F6 キー	MD READYキーと同じ
F7 キー	AUTO CUEキー (MD用)と同じ
F8 キー	MD RECORDキーと同じ
F9 キー	AUTO READYキー (MD用)と同じ
F10 キー	REPEAT キー (MD用)と同じ
F11 キー	PLAY MODE キー (MD用)と同じ
F12 キー	MD PITCHつまみ押しと同じ
SHIFT + F1 キー	MD編集"ERASE TRK"へ
SHIFT + F2 キー	MD編集"ERASE DISC"へ
SHIFT + F3 キー	（割り当てなし）
SHIFT + F4 キー	MD編集"MOVE"へ
SHIFT + F5 キー	MD編集"DIVIDE"へ
SHIFT + F6 キー	MD編集"COMBINE"へ
SHIFT + F7 キー	タイトル編集"TITLE GRP"へ
SHIFT + F8 キー	タイトル編集"TITLE INPUT"へ
SHIFT + F9 キー	UNDO動作
SHIFT + F10 キー	MD編集"GRP CANCEL"へ
SHIFT + F11 キー	MD編集"GRP CREATE"へ
SHIFT + F12 キー	DUBBINGキーと同じ

キーボードのキー	動作
CTRL + F1 キー	CD ⏮ キーと同じ
CTRL + F2 キー	CD ⏭ キーと同じ
CTRL + F3 キー	CD キーと同じ
CTRL + F4 キー	CD STOPキーと同じ
CTRL + F5 キー	CD PLAYキーと同じ
CTRL + F6 キー	CD READYキーと同じ
CTRL + F7 キー	AUTO CUEキー (CD用)と同じ
CTRL + F8 キー	KEYキーと同じ
CTRL + F9 キー	AUTO READYキー (CD用)と同じ
CTRL + F10 キー	REPEAT キー (CD用)と同じ
CTRL + F11 キー	PLAY MODE キー (CD用)と同じ
CTRL + F12 キー	CD PITCHつまみ押しと同じ
CAPSキー	「英大文字」を選択／解除
カタカナキー	「カタカナ」を選択／解除
数字キー／文字キー	数字文字の入力
←／→キー	カーソルを移動
Deleteキー	DEL/CLRキーと同じ
Back Spaceキー	カーソル手前の文字を削
Insertキー	INSキーと同じ
ESCキー	編集／タイトル編集をキャンセルしてメニューモードを終了
Enter キー	ENTER/YES キーと同じ

第13章　通信設定／サービスデータの確認

通信設定

本機のCONTROL I/O (RS-232C)端子をコンピュータのRS-232C端子と接続することにより、コンピュータと本機の間でデータの転送を行なうことができます。
CDメニューのSERIALサブメニューの中の以下の項目を使って設定します。

BAUD RATE

ボーレート（通信速度）の設定を行ないます。
4800、9600、19200、38400 (bps)の中から選択します（初期設定：9600)。

LENGTH

通信データ長の設定を行ないます。
7または8 (bit)に設定します（初期設定：8)。

PARITY

通信パリティビットの設定を行ないます。
NON、EVEN、ODDの中から選択します（初期設定：NON)。

STOP BIT

通信ストップビットの設定を行ないます。
1または2 (bit)に設定します（初期設定：1)。

サービスデータの確認

CDメニューのSYSTEMサブメニューの中の以下の項目から、サービスデータを確認することができます。

CD P_TIME

CDデッキの総再生時間が表示されます。

MD P_TIME

MDデッキの総再生時間が表示されます。

MD R_TIME

MDデッキの総録音時間が表示されます。

各種設定の初期化

各種設定を、工場出荷状態にする事ができます。

1. **MD、CDがどちらもNo Disc状態中に、CDメニューのSYSTEMサブメニュー内の"F_PRESET?"項目を選択します。**
   "Sure?"が表示されます。
2. **本体のＥＮＴＥＲキー（またはＹＥＳキー)、またはリモコンのＥＮＴ／ＹＥＳキーを押します。**
   各種設定が工場出荷状態となります。

メモ

"Complete"表示が消えるまで、電源を切らないでください。

CD部

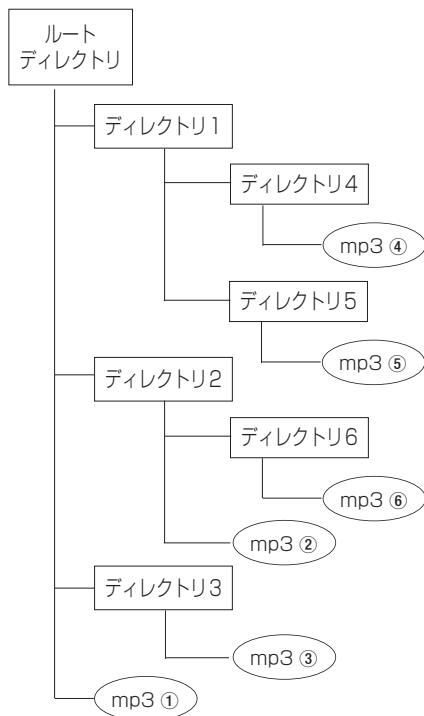
MP3ファイルに関して

● ISO9660レベル1、レベル2、またはJolietに準拠したフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。また、マルチセッションで記録されたディスクも再生することが可能です。

● 本機ではMP3ファイルとディレクトリ（フォルダ）数に以下のような制限を設けております。

最大ディレクトリ数：255
最大MP3ファイル数：999
最大MP3ファイル名、ディレクトリ名：255文字

● MP3ファイルは、上位階層にあるMP3ファイルから順に再生されます。

以下の例ではMP3 ① → MP3 ⑥の順に再生されます。

● MP3のトラック情報について

再生中にタイトルに表示される優先順位は
ID3v2>ID3v1>ファイル名となっています。

また、停止中はファイル名を表示します。

CD-R/RWに関して

● CD-R/RWはファイナライズしていないと読み込むことができません。必ずファイナライズしてからディスクを入れてください。

■ファイナライズとは
音声データをCD-R/RWディスクに録音しても、最終的なTOC(Table of Contents=録音したデータの情報)をディスクに記録しなければ、一般のCDプレーヤーで再生することはできません。TOCを記録することをファイナライズといいます。

コピーコントロールCDに関して

● いくつかのレコード会社より「コピーコントロールCD」と銘打った著作権保護を目的としたディスクが販売されています。これらの中にはCD規格に準拠していないディスクも存在し、本製品で再生できない場合があります。

MD部

MDデッキを使用中、以下のような症状が出る場合がありますが、これらはMDシステム上の制約によるものです。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

● 録音可能時間内であっても"Track Full!"が表示される。

時間に関係なく、トラック数がいっぱいになると"Track Full!"を表示します。MDシステムでは、255トラック以上の録音はできません。さらにトラックを追加録音するには、不要なトラックを消すか、トラックを結合するか、あるいは別のMDに分けて録音してください。

● トラック数も録音時間も余裕があるのに"Track Full!"が表示される。

トラック中にエンファシス情報などの入/切が行なわれると、これらはトラックの区切りと同じ扱いになるため、時間やトラック数に関係なく"Track Full!"を表示する場合があります。

● トラックを消したがMDの残り時間が増えない。

MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視されるので、短いトラックを消しても時間が加算されないことがあります。

● 録音経過時間と残量時間の合計が、MDの録音可能時間と一致しない場合がある。

通常、1クラスタ(約2秒)が最小単位で録音されます。それに満たないものでも、2秒分のスペースを使うため、実際に使用可能な時間は少なくなります。またMDに傷があると、傷の部分を自動的に削除するので、その部分の時間が減ります。

● つなぐことができない場合がある。

· 編集してできたトラックは、つなげない場合があります。
· 録音モード（標準、MONO、LP2、LP4）の異なるトラックをつなげることはできません。
· 3トラック以上をつなげる場合、標準モードで約9秒、MONOモードおよびLP2モードで約17秒、LP4モードで約33秒以下のトラックをつなげることはできません。

● サーチを行なうと音がとぎれることがある。

編集してできたトラックは、サーチすると音がとぎれる場合があります。

● CDをMDにダビングするとトラック間にスペースができる。

本機では各トラックの先頭位置を正確に記録するために、各トラックを区切ってダビングしています。トラック間にスペースを入れたくない場合は以下のような設定でダビングを行なってください。

· CDのデジタルアウトをMDのデジタルインに入力
· 入力選択を"OPTICAL"に設定
· MDメニューのRECサブメニュー内の"SYNC MODE"項目を"ON"に設定
· MDメニューのRECサブメニュー内の"A_TRK"項目を"DD"に設定

● トラック番号が正確に付かないことがある。

デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によっては、短いトラックができる場合があります。また、オートトラック機能を使って自動的にトラック番号を付けた場合、録音するものの内容によってはトラック番号が正確につかないことがあります。

● "TOC Reading"表示がなかなか消えない。

新品の録音用MDをセットすると、通常よりも"TOC Reading」表示が長くなります。

● タイトルが1700文字入らない。

タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されます。7文字以下のタイトルでも7文字分のスペースを使うため、1700文字入りきらない場合があります。

第15章　メッセージ一覧／トラブルシューティング

メッセージ一覧

動作メッセージ	意味／対処方法
Blank Disc	何も録音されていない録音用MDが入っています。
New Disc!	新品の録音用MDが入っています。
Complete	編集が正常に完了しました。
Dubbing Wait	ダビング開始準備中です。
TOC Reading	TOC情報読み取り中です。
UTOC Writing	TOC情報書き込み中です。
Now Editing	Edit実行中です。
Over Write	オーバーライト録音モードです。

エラーメッセージ	意味／対処方法
Disc Error!	ディスクに異常があります。ディスクを交換してください。
Disc Full!	MDの残り時間が無いため、録音できません。
Title Full!	タイトルがいっぱいです。
D-IN UNLOCK!	デジタル入力が接続されていません。DIGITAL INに接続した機器の電源を入れてください。
Not Execute!	MDのシステム上の制約により、編集が完了できませんでした。
Not Audio!	DIGITAL INからの入力信号がオーディオ信号ではありません。
No Track!	トラックがひとつも録音されていません。
PGM Empty!	プログラムされていません。
PGM Full!	これ以上プログラムできません。
W_Protected!	MDが誤消去防止状態になっています。
Pre Master!	再生専用のMDが入っています。
TOC Error!	TOC情報が正常ではありません。
Can't Edit!	MDのシステム上の制約、編集状態の制限により、編集できません。
Can't Rec!	グループモードがオンのため、録音を開始できません。
Can't Sel!	選択禁止状態時のため、メニューの選択ができません。
Can't Undo!	Undo可能な編集がないため、Undo動作ができません。
Rec Error!	録音中にエラーが発生しました。録音をやり直してください。
Drive Error!	ドライブに問題があります。
Sync Rec ON!	Syncモードがオンのため、手動での録音開始ができません。
Err Group!	登録されているグループ情報に問題があります。
No Group!	グループが登録されていません。
No DIR!	ファイルが存在するディレクトリが登録されていません。
Decode Err!	MP3ファイルの再生に失敗しました。
IR Disable!	リモコン操作が許可されていません。
Format Err!	本機では読み取り不可能な形式のMP3ファイルが記録されたディスクです。

トラブルシューティング

電源が入らない。

電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

「Disc Error!」が表示される。

ディスクの汚れが考えられます。
ディスクを交換してください。

再生できない。

結露していませんか？
結露している場合はディスクを取り出して、電源をオフにしたまま数時間放置してください。

音が出ない。

- システムとの接続をもう一度確認してください。
- 音量等、アンプの操作を確認してください。

録音できない。

- MDが誤消去防止状態になっている場合は、誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。
- システムとの接続をもう一度確認してください。
- 録音レベルを調節してください。
- 再生専用のMDには録音できません。録音用MDと交換してください。
- MDの残り時間が足りない場合は、不要なトラックを消去するかMDを交換してください。
- アンプの操作を確認してください。

設定を変えたのに記憶されていない。

- 本機ではモード設定を変更するたびにバックアップしています。電源を切るタイミングによってはバックアップに失敗してしまう場合がありますので、変更した直後に電源を切らないでください。

雑音がする。

テレビなど強い磁気を帯びたものから十分離して設置してください。

第16章　仕様

MDデッキ部定格

形式	ミニディスクレコーダー
使用ディスク	ミニディスク
記録モード	STEREO/MONO/LP2/LP4
記録方式	Magnetic field modulation overwrite
録音時間（74分ディスク使用時）	74分（標準）、148分（MONO） 148分（LP2）、296分（LP4）
サンプリング周波数	44.1kHz
圧縮方式	ATRAC（Adaptive TRansform Acoustic Coding）

CDデッキ部定格

形式	CD再生機
使用ディスク	CD/CD-R/CD-RW
再生可能フォーマット	オーディオCD（CD-DA）、MP3

入出力定格

アナログライン入力（MD入力）	
コネクター	RCA
規定入力レベル	−10dBV
入力インピーダンス	10kΩ
アナログライン出力	
コネクター	RCA
規定出力レベル	−10dBV
出力インピーダンス	570Ω
PHONES	
コネクター	ステレオホンジャック
最大出力レベル	20mW＋20mW
負荷インピーダンス	32Ω
デジタル入力	TOS（EIAJ RC-5720）
フォーマット	IEC60958 TypeⅡ（S/PDIF）
デジタル出力	TOS（EIAJ RC-5720）
フォーマット	IEC60958 TypeⅡ（S/PDIF）
KEYBOARD	Mini DIN 6p

MD電気的特性

周波数特性	20Hz～20kHz、±0.5dB
S/N比	98dB以上（再生時、Aフィルター）
	95dB以上（録音時、Aフィルター）
ダイナミックレンジ	98dB以上（再生時、Aフィルター）
	95dB以上（録音時、Aフィルター）
全高調波歪率	0.004%以下（再生時）
	0.006%以下（録音時）
チャンネルセパレーション	
	90dB以上（再生時、1kHz）
	83dB以上（録音時、1kHz）

オーディオCD電気的特性

再生周波数特性	20Hz～20kHz、±0.5dB
S/N比	100dB以上（Aフィルター）
ダイナミックレンジ	100dB以上（Aフィルター）
全高調波歪率	0.004%以下
チャンネルセパレーション	90dB以上（1kHz）
ワウフラッター	測定限界以下（0.001%以下）

一般

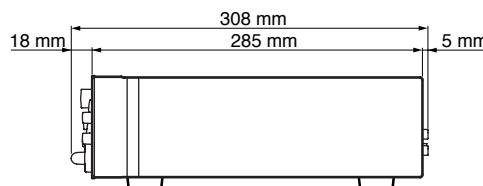
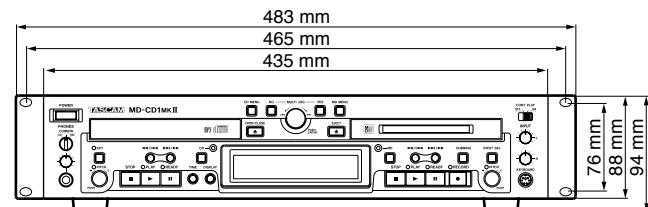
電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	18 W
外形寸法	483 x 94 x 308（mm）
質量	5.4kg
動作温度	5～40℃
付属品	リモコン（x1）
	単三電池（x2）
	電源コード（x1）
	取扱説明書（x1）
	ラックマウントビスキット（x1）
	保証書（x1）

＊ EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定法によるものです。

＊ 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

＊ 製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが、一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

外形寸法図

保証とアフターサービス

■ 保証書

・この商品には保証書を別途添付しております。

・保証期間は、お買上げ日から１年です。

・保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記載事項をお確かめの上、販売店からお受け取りください。また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談およびご不明な点は、お買い上げ店、またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

49ページに従ってお調べいただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ店、またはティアック修理センターにご連絡ください。なお、ミニディスクデッキ本体の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

・品名：ミニディスクデッキ／CDプレーヤー

・型名：MD-CD1MKⅡ

・お買い上げ日：

・故障の状況：

・ご住所とお名前：

・電話番号：

この製品のお取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00/13:00～17:00です。

タスカム営業技術　〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～17:00です。

ティアック修理センター　〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
http://www.tascam.jp/

Printed in China